

加美町新庁舎建設基本設計案(概要版)のパブリックコメントの結果をお知らせします。

このたび、加美町新庁舎建設基本設計案(概要版)に対しまして、貴重なご意見をいただきありがとうございました。意見募集の結果と町の考え方について、取りまとめましたので公表いたします。

○案件名

加美町新庁舎建設基本設計案(概要版)

○募集期間

令和7年4月7日(月曜日) から 令和7年5月7日(水曜日)

○募集方法

- ・ 町ホームページに掲載するとともに、4月15日付の回覧および広報かみまち5月号で周知しました。
- ・ 役場本庁舎、小野田支所、宮崎支所にて基本設計案(概要版)の閲覧を行いました。

○提出件数

- ・ 73名の皆様から162件のご意見をいただきました。
- ・ 上記以外に、住所や氏名が不明の方、町との利害関係がない方、あわせて5名の皆様からもご意見をいただきましたが、対象外と判断し、本結果には含めておりません。
- ・ ご意見を頂いた方の地区別、年齢別の人数およびご意見の件数は、右下に記載のとおりでした。

○意見の内容について

- ・ 頂いたご意見をそのまま入力したものを掲載しています。
- ・ 誤字や脱字の修正は行っておりません。

○町の考えについて

- ・ 頂いたご意見に対する町の考え方を掲載しています。
- ・ 本パブリックコメントによる基本設計案(概要版)の大幅な変更は行いません。
- ・ 頂いたご意見をもとに、実施設計時に設計内容の必要な修正などを行ってまいります。

地区別

中新田地区	48名	98件
小野田地区	3名	8件
宮崎地区	22名	56件

年齢別

30代	2名	2件
40代	1名	3件
50代	5名	15件
60代	19名	23件
70代	30名	94件
80代	10名	17件
90代	1名	1件
未記入	5名	7件

加美町新庁舎建設基本設計案（概要版）に関する意見と町の考え方

項番	ページ	意見の内容	意見に対する町の考え
1. 建物や室の配置			
1	P5	◎車椅子用のトイレについて 厚労省の基準では現在の職員数から8人位（約3%）身障者を雇用しなければならないが歩行障害の方を採用した場合執務エリアからトイレまでの距離が長い。身障者にも優しい新庁舎を建設したほうが良いのではないですか。	各階に車いす対応の多機能トイレを設置していますが、人事異動や部署配置の検討の際に、歩行に困難のある職員の執務エリアを、車椅子用トイレに近い場所に配置するなどの対応を検討していきます。また、今後、障がいのある職員の方々との意見交換の機会を設け、具体的なニーズや改善点についてお伺いする場を設けるなど、より働きやすい環境整備に努めます。
2	P6	◎3F部分について 三階の建物の配置が南北になっていますが東西に建設したほうが良いのでは。西側から強風が吹くことが分かっているならば出来るだけ風のあたる面積を少なくしたほうが良いです。1F・2F部分は西側にある建物で軽減できると思います。 （※第三回レポート2025年2月27日開催 計画のポイント参照）	建物により、加美町特有の強い西風を遮り、東のメインエントランス、車寄せ、駐車場を守る形での配置を計画しています。
3		1. 小会議室は各階毎にあるが、大会議室的な部屋がありません。建物の集約の他、委員会によるスリム化を図った点は評価するが、大部屋は建物を一棟に集約することから必要ではないか。災害時の被難場所としても活用できる。	3階北側の議場において椅子やテーブルを可動式とし、多目的利用を可能とするほか、3階南側の会議室は1つの大きな会議室にできるように計画しています。また、1階の共用スペース（町民スペース）も大会議室としての利用が可能であると考えています。
4		② 1階の町民スペースに議場を、議会閉会中は多目的化し使用する。この事で新庁舎は2階建てとする。	議場は、議会の独立性や静肅性、そして会議運営の効率性を考慮し、独立したスペースとして町民スペースとは別の階に配置する案となっております。ご意見のとおり、議場内の椅子やテーブルは可動式とし、多目的利用を可能とするよう計画しています。
5		③ 交流や展示物は、現支所や各公共施設を有効活用すべきである。	現在の計画では、町民の皆様の交流促進や情報発信の拠点として、共用スペースを計画しています。これは、新庁舎が町の新たなシンボルとなり、誰もが気軽に立ち寄れる開かれた場所となることを目指したものです。新庁舎において、既存施設では補完できない、またはより効果的に発揮できる交流・展示機能として、行政情報の発信拠点としての役割や、新たな交流を生み出すための役割などを検討していきます。
6	P5	2階南側の吹抜部分、また1階・2階の光庭の部分は、今後何十年と利用する庁舎で、かえって足かせになるのではないのでしょうか。むだな空間は必要ないと思います。	共用スペース（町民スペース）の吹抜につきましては、明るく開放的で、町民の皆様に親しまれる空間として計画したものです。また、光庭につきましては、執務スペースの採光のほか、換気や排煙のための開口部として法令対応のための役割があります。
7		③ 宮崎中学校・旭小・鹿原小・西小野田小、廃校が増えていることを考えれば、〈新庁舎の町民スペース〉にレポートのような項目をすべて盛りつけなくともよいのではないだろうか。—3階までも不要かもしれないし、町民スペースの重複はいかがなものか？—ダウンサイジング可能と考えます。 ☆人の減少が税収入減となつてはいないだろうか？ ☆以前、こんなことを聞いたことがある。〈立派な庁舎を作った町の中身は果たしてどうなんだらうね—と〉	現在の計画では、町民の皆様の交流促進や情報発信の拠点として、共用スペースを計画しています。これは、新庁舎が町の新たなシンボルとなり、誰もが気軽に立ち寄れる開かれた場所となることを目指したものです。新庁舎において、既存施設では補完できない、またはより効果的に発揮できる交流・展示機能として、行政情報の発信拠点としての役割や、新たな交流を生み出すための役割などを検討していきます。
8		④ ワークショップの②～③～④～⑤～⑥～⑦～⑧～⑨～⑩これらは、庁舎になくとも現在の支所機能で補完されているし、箱物を区切って用意せずとも、各地区に分散可能だからレポート①を考へてもダウンサイジング出来ると思う。	現在の計画では、町民の皆様の交流促進や情報発信の拠点として、共用スペースを計画しています。これは、新庁舎が町の新たなシンボルとなり、誰もが気軽に立ち寄れる開かれた場所となることを目指したものです。新庁舎において、既存施設では補完できない、またはより効果的に発揮できる交流・展示機能として、行政情報の発信拠点としての役割や、新たな交流を生み出すための役割などを検討していきます。

加美町新庁舎建設基本設計案（概要版）に関する意見と町の考え方

項番	ページ	意見の内容	意見に対する町の考え
9		<p>・計画概要について 合併以来の最大の懸案であった新庁舎建設は長期間にわたり政争の具とされたが、建設がスケジュール通りに進めば3年後には完成の見込みとなっている。 20年以上も手狭な事務室、職場環境の中で仕事にあたってきた職員に、広々とした事務室で一生懸命仕事をしていただきたいし、大いに期待するものである。 そこで、次の何点かについて町当局の考えを聞きたい。</p> <p>① 延べ床面積5,530㎡とあるが、令和5年11月に実施した町政懇談会の説明時と比べどの位の増減があるのか。</p>	<p>新庁舎の規模としましては、令和5年11月に実施した町政懇談会の時点では、庁舎4,800㎡、車庫1,000㎡、合わせて5,800㎡としておりました。基本設計におきましては、庁舎部分が約4,900㎡、車庫、外部倉庫等の部分が約600㎡、合わせて5,530㎡の規模と計画していますので、約270㎡の減となっております。</p>
10		<p>無駄2 エレベーター これも管理費・維持費がかかりすぎるので、3階建てではなく、2階建てにすべき 外のフリースペースまで建物を長方形に建築し、3階の議場は1階に作るべきで、傍聴もしやすくなる</p>	<p>2階建としても、バリアフリー法や宮城県誰もが住みよい福祉のまちづくり条例などの規定によりエレベーターが必要となると考えております。 また、議場は、議会の独立性や静肅性、そして会議運営の効率性を考慮し、独立したスペースとして3階に配置する案となっております。ご意見のとおり、傍聴等にお越しの方々の動線等に充分配慮していきます。</p>
11		<p>無駄3 建物内の自遊空間が多すぎる 町民が利用できる空間は、公民館、図書館、小野田の文化センターなどもあるので、庁舎内には不要 このスペースで議場を作るべきと考えます</p>	<p>共用スペースは町民の皆様の交流やイベント等といった目的だけでなく、町側としても期日前投票や税申告相談、子育てや保健関連事業、臨時的な申請受付業務、ワークショップや説明会、各種団体の会議等に使用することを想定しています。</p>
12	P8	<p>③ 大庇：大庇を付けないことで、建設費を削減する。壁面素材と合わせて変更。 “大屋根と大庇による直射日光、風雨（雪）からの建物の保護”は、ガラスウォールでなければ、長い庇、裳階が必要ない。通常の建物でもある程度の保護は必要であるが、直射日光他ガラスウォールであるための保護で費用が嵩むという建物を新設することには納得しかねる。また、軟弱地盤のため軽量化を図っているのに大屋根を加えるという矛盾がある。 庇への積雪対策が必要になるか不明。自然落下の場合人的な被害が懸念される。</p>	<p>大屋根と周囲の庇により建物に差し込む日射をコントロールし省エネ対応を図るとともに、風雨から建物を保護し、メンテナンス負担軽減と耐久性の向上を図っております。 また、大屋根や庇の積雪は落雪させないようにしてまいります。ご意見のとおり、積雪対策に関しましては十分に検討していきます。</p>
13	P5	<p>④ 広さ：利用のしやすさ、職員の目の配りやすさを考慮し、広さを現設計の3分の2程度にする。 “平面計画”で、南側1F、2Fの共有スペースは必要ないか、縮小してよいのではないかと。現庁舎は手狭ではあるが、職員の方の目が適度に届き、声を掛けてもらえることも多く、安心できる。広いということは安心・安全のための目配りや管理に手間がかかり、加えてp2のランニングコストの縮減にも反して光熱費、清掃費、除雪費等の維持費がかかるということになる。建築費の返済を含めた負の遺産を後の世代に残すことになる。 建築による物理的なユニバーサルデザインだけでなく、適度にコンパクトにし、職員の方が利用者に目が届くようにすることでユニバーサルな空間になることが好ましいと考える。 また、施設の用途を兼ねたり、新たに作ったりするコスト、新たに作ることでさらに維持費がかかるということにコストをかけるのではなく、公民館やパッパホール他、駐車場を増やすことも含めて現在ある施設をより有効に利用できるようにしてほしい。 庁舎機能について、宮崎や小野田の支所の機能についての記載がない。それも含めて検討すべき。</p>	<p>共用スペースは町民の皆様の交流やイベント等といった目的だけでなく、町側としても期日前投票や税申告相談、子育てや保健関連事業、臨時的な申請受付業務、ワークショップや説明会、各種団体の会議等に使用することを想定しています。 窓口はカウンターを介し、執務スペースからの見通しが良い計画としています。庁舎を利用される方への声掛けや安心感につながる接客マナーなどについて、職員への周知徹底を図っていきます。 また、新庁舎の建設にあわせて、行財政改革や住民サービスの維持向上のため、支所をはじめとした出先機関等のあり方、職員の配置等についても検討していきます。 町政全般に対するご意見として承ります。</p>

加美町新庁舎建設基本設計案（概要版）に関する意見と町の考え方

項番	ページ	意見の内容	意見に対する町の考え
14		<p>10年後には、加美町の人口が半分近くに減ると予測されている中、現在の本庁舎の3倍の広さの庁舎が必要なのでしょうか？ 石山町長が議会で言ったように、シンプルでコンパクトなものに、すべきたと思います。この案はシンプルでもコンパクトでもありません。</p>	<p>新庁舎は、1箇所 で 用件を 済ませられる 利便性や、事務の 効率化のため、現在は 分かれて 配置されている 福祉部門、議会、教育委員会、農業委員会などの機能を 集中させた 庁舎として 計画しています。人口減少や職員数の減少に対応できるように、オープンな 執務空間や 多目的に利用できる 空間を 考慮した 検討を進めています。</p>
15		<p>町民ワークショップに3回参加しました。その際にも述べた意見と重複することも書きたいと思ひます。 議会で町長が、シンプルでコンパクトとおっしゃっていたのを聞いていましたので、基本設計図を見て驚きました。 面積がおおよそ、現在の西田庁舎の3倍もあるとのこととわかり、必要以上に大きいと思ひます。宮崎、小野田の両支所があるにもかかわらず、何故こんなに大きく建てる必要があるのでしょうか？ 職員が快適な環境で仕事ができることは大事なことです。出生数の減少が顕著で、人口減少が確実に進む中、既存の建物を有効活用してコンパクトな建物にすべきたと考えます。 宮崎支所(旧宮崎役場)の3階には立派な議場があり、エレベーターも設置されていますので、活用すべきたではないのでしょうか。3町合併の際、議員数が多かったために、とりあえず小野田支所の3階を議場とし、議員定数が減った時点で宮崎に移すという話があったとも聞いています。 宮崎庁舎の議場を活用することで、設計案の3階は必要が無くなります。2階建ての庁舎としコンパクトにすることが出来るのではないのでしょうか。 また、教育委員会は、独立した機関ですので、本庁舎と同一の庁舎に入らなくともいいのではないのでしょうか。そうすることで、更に庁舎をコンパクトにできます。宮崎庁舎は矢越から10キロ、車で14分しか離れていないのですから。 宮崎は、中学校も閉鎖となり、農協も撤退しています。宮崎から何もかも無くなってしまうと、宮崎の町民は嘆いています。 合併特例債は有利な起債とはいえ、借金に変わりはありません。年々、人口が減り、交付税額が減って行く事は間違いない中で、借金の返済に加え、設計案は、間違いなく光熱費や維持管理費が多大にかかり、町の財政を圧迫するのではないのでしょうか。後世に禍根を残すべきたではありません。</p>	<p>新庁舎の規模としましては、庁舎部分が約4,900㎡、車庫、外部倉庫等の部分が約600㎡、合わせて約5,500㎡の規模となっており、職員数などを考慮した適切な面積と考えております。 新庁舎は、1箇所 で 用件を 済ませられる 利便性や、事務の 効率化のため、現在は 分かれて 配置されている 福祉部門、議会、教育委員会、農業委員会などの機能を 集中させた 庁舎として 計画しており、新庁舎の必要性は高いものと考えております。 よって、機能的で維持管理が容易な建物とすることにより、最終的なコスト増を極力抑えた形での実施設計、建設工事を目指していきます。 なお、宮崎支所の議場であった場所については、現在は倉庫・書庫として利用しています。20年以上経過していますので、議場として利用する場合には、故障中の空調設備の修理、照明器具や内装類の修繕、椅子や机といった備品の更新、傍聴席や議場内のバリアフリー対応、議会議中継放送設備の設置のほか、議会事務局や議員控室として使用される部分の修繕など、多くの工事や作業が必要となり、多額の費用を要すると考えられます。</p>

加美町新庁舎建設基本設計案（概要版）に関する意見と町の考え方

項番	ページ	意見の内容	意見に対する町の考え
16	P1	<p>2設計方針について(P1)</p> <p>(1)設計方針の第1に、「コンパクトで、建設費や維持管理費が抑えられる庁舎」を盛り込むべきです。最も大切な視点が抜け落ちています。</p> <p>(2)「新庁舎は東の玄関口に構えるゲートとして位置付けるとともに、西に広がる町を見渡し」とありますが、庁舎は観光施設ではありません。町民のための庁舎です。なぜ、来訪者を意識し、町に背に向け建てるのでしょうか。南側にエントランスを設け、町民を歓迎し見守るような設計にすべきです。</p> <p>(3)デザイン重視の方針に疑問を感じます。「屋根が織りなす風景や山並みにと調和する『大屋根』と周囲の『大庇』が建物を優しく包み込み・・・」とありますが、やくらい文化センターの二の舞いになります。屋根を葉菜の形に合わせ、南側をガラスウォールにしたことで、多額の維持管理費がかかります。コンパクトで機能重視の設計に変更すべきです。</p> <p>(4)「災害につよく、職員が働きやすい庁舎」というのであれば、L字型ではなく、尾花沢市のように四角の建物にすべきです。</p> <p>(5)「みんなが利用可能な共用スペース・・・」とありますが、法律で「庁舎」は地方公共団体がその事務を処理するために使用する建築物と定義されています。「人口減少社会における、町民の行政参加」を促すのであれば、公共施設の面積を増やすのではなく、公民館や図書館等既存の施設を有効に活用し、町民の行政参加を促すべきです。庁舎にそのためのスペースを設け、新庁舎の床面積を増やすべきではありません。</p>	<p>設計者を選定する際のプロポーザル時に公表した基本的方針には、町民に分かりやすく、職員にとっても使いやすいコストパフォーマンスの高い施設となるよう、書庫や会議室などの規模の適正化を図るとともに、将来の更新を見据えた設備機器の配置など、建設から運営までトータルコストの低減に配慮するよう記載しており、その方針に沿った設計を進めております。</p> <p>また、建物は西に広がる町からの正面性、南の広場や共用スペースの賑わいなど、各方向からの見え方に配慮し、各面に表情のある建物としています。特にデザイン重視の方針は掲げておりません。</p> <p>共用スペースは町民の皆様の交流やイベント等といった目的だけでなく、町側としても期日前投票や税申告相談、子育てや保健関連事業、臨時的な申請受付業務、ワークショップや説明会、各種団体の会議等に使用することを想定しています。</p>
17	P2	<p>3計画概要について(P2)</p> <p>(1)延床面積が現本庁舎の約3倍の面積は広すぎます。支所等も活用し延床面積を減らすべきです。昨今の建築費高騰はまだ続き、契約額が増加し、引渡し前にさらに追加の額が求められ、最終的にいくらかかるかわかりません。例えば、将来の建設費高騰も勘案し、仕上がりは33億と決め、その範囲内で建設できるコンパクトな庁舎にすべきです。「入りを量りて出るを制す」が基本です。</p> <p>(2)令和10年度が合併特例債の期限ということで建設を急いでいるようですが、多くの合併自治体が、コロナの影響や建設費の高騰で、事業の推進に苦慮している中、東北初の合併町として、他の合併町と連携し総務省に、合併特例債期限の再々延長を強力に要請すべきです。小野寺衆議院議員が自民党政調会長であり、政府自民党が様々声に耳を傾けざるを得ない今がチャンスではないでしょうか。</p>	<p>新庁舎の規模としましては、庁舎部分が約4,900㎡、車庫、外部倉庫等の部分が約600㎡、合わせて約5,500㎡の規模となっております。職員数などを考慮した適切な面積と考えております。</p> <p>新庁舎の建設の時期について、合併特例法の財政支援が受けられる期限である令和10年度までに完了させることが財政面で非常に有利であり、早急に進めていく必要があると考えています。</p> <p>なお、後段部分は町政全般に対するご意見として承ります。</p>
18	P3	<p>4建物概要(模型写真)(P3)</p> <p>(1)東西に長く建物が西からの強風をまともに受けることで、広い面積で劣化が進みます。入り口を南側にし、東西に長い建物にすべきです。</p> <p>(2)入口が東側で、中新田の町にそっぽを向けるような設計を変更すべきです。</p> <p>(3)西側がL字になっており、広場が設置されている設計は改めるべきです。春先は強風でイベントどころではありません。冬は雪だまりになります。ガラスウォールのコーキングの劣化が進みます。</p> <p>(4)このデザインが加美町らしいとは思えません。取って付けたような3階は不自然です。優れたデザイン性があるとは思えません。シンプルな2階建てに変更すべきです。</p>	<p>建物により、加美町特有の強い西風を遮り、東のメインエントランス、車寄せ、駐車場を守る形での配置を計画しています。また、建物は西に広がる町からの正面性、南の広場や共用スペースの賑わいなど、各方向からの見え方に配慮し、各面に表情のある建物としています。</p> <p>また、ご意見のとおり、壁面やガラス面のコーキングの劣化の主な原因は、風雨や直射日光(紫外線)と言われています。大屋根と周囲の庇により建物に差し込む日射をコントロールし省エネ対応を図るとともに、風雨から建物を保護し、メンテナンス負担軽減と耐久性の向上を図っております。</p>

加美町新庁舎建設基本設計案（概要版）に関する意見と町の考え方

項番	ページ	意見の内容	意見に対する町の考え
19	P4	<p>5配置計画(P4)</p> <p>(1)「加美町特有のつよい西風を遮り」とありますが、であるなら、なぜ、風を遮るものがなく、西風が吹き付ける場所に庁舎を建てるのでしょうか。西田町有地であれば、西に公園があり、周辺には民家があり、風の強さを軽減してくれます。設計上、強い西風対策が重要なのであれば、両町有地の風況調査をし、庁舎位置の選定をやり直すことを提案します。</p> <p>(2)「建物周囲の軒下空間」は全く必要性を感じません。なくて済むものは、作るべきではありません。</p> <p>(3)盛土し地盤面を高くしても、道路の冠水を防ぐことはできません。西田であれば特段盛土する必要もなく、周辺の道路が、冠水するリスクは低いと言えます。災害拠点の視点から、矢越ありきではなく、両候補地を精査すべきです。</p>	<p>新庁舎の建設地につきましては、加美町役場の位置を定める条例のとおり、現在の敷地で整備事業を進めております。</p> <p>なお、建物周囲の軒下空間につきましては、歩行者の通行のほか、車寄せ（バス停や乗降エリア）としての利用、共用スペースと屋外の一体的な利用のための空間と考えています。</p>
20	P5	<p>6平面計画-1(P5)</p> <p>(1)1階南側の町民スペースは不要です。賑わいは商店街や市街地で創出すべきであり、庁舎で賑わいを創出する必要はありません。</p> <p>(2)エントランスホールは必要以上に広すぎます。エントランスホール奥の吹き抜けの所にエレベーターを設置すれば、更に、コンパクトにできます。吹き抜けも光庭も不要です。</p> <p>(3)2階の副町長室は必要ありません。現庁舎のように、副町長が職員と同じフロアにすることで、職員の様子が見て取れ、コミュニケーションが図り易くなるのです。</p> <p>(4)応接室も必要ありません。現庁舎での町長室で全く支障がありません。</p> <p>(5)南側の吹き抜けも必要ありません。そもそも南側の18mX20mの町民スペースは不要です。南側のスペースは削除すべきです。</p>	<p>町民の皆様の交流促進や情報発信の拠点として、共用スペースを計画しています。これは、新庁舎が町の新たなシンボルとなり、誰もが気軽に立ち寄れる開かれた場所となることを目指したものです。新庁舎において、既存施設では補完できない、またはより効果的に発揮できる交流・展示機能として、行政情報の発信拠点としての役割や、新たな交流を生み出すための役割などを検討していきます。既存施設との連携を強化し、情報発信やイベント開催などを共同で行うことで、相乗効果を高めることを検討いたします。</p> <p>副町長室については、ご意見のとおり、職員とのコミュニケーションの図りやすさも考慮し、開放が可能な間仕切り等を実施設計において検討していきます。また、応接室は、役場を訪れる重要な来客を迎え、休憩や会議、応接の場となるほか、職員と来客との間で、情報交換や意見交換を行う場として利用されますので、その必要性は高いものと考えております。</p>
21	P6	<p>7平面計画-2(P6)</p> <p>(1)周囲の回廊スペースとは、誰が回遊し景色を眺めるのでしょうか。</p> <p>(2)「3階をみんなが町について考え、話し合い、運営していく場のフロア」としていますが、誰を集いどのような場を想定しているのでしょうか。既存の公民館等を活用すべきであり不要です。</p> <p>(3)議場は、宮崎庁舎3階の議場を活用すべきです。エレベーターもあり、議場として十分です。新庁舎に議場を作る必要はありません。</p> <p>(4)3階は必要ありません。2階建てにし、建設費を圧縮し後年の維持管理費を抑えるべきです。</p>	<p>3階につきましては、北側を議会のエリアとし、南側を一般利用も可能な会議室として計画しています。各種団体等の開催に対応できるよう想定しています。</p> <p>また、宮崎支所の議場であった場所については、現在は倉庫・書庫として利用しています。20年以上経過していますので、議場として利用する場合には、故障中の空調設備の修理、照明器具や内装類の修繕、椅子や机といった備品の更新、傍聴席や議場内のバリアフリー対応、議会中継放送設備の設置のほか、議会事務局や議員控室として使用される部分の修繕など、多くの工事や作業が必要となり、多額の費用を要すると考えられます。</p>
22	P7	<p>8立面計画(P7)</p> <p>(1)どの方向からみても、3階は取って付けたようで不自然です。無理に「かみまちらしさ」を演出しようとするのではなく、コスト削減を最優先に考えるべきです。</p> <p>(2)「大屋根と周囲の大庇により、建物を保護し、・・・深い軒に守られ・・・町産木仕上げとし」とありますが、木の柱を守るために、大庇をつくるのでは、本末転倒です。庁舎は、事務を行うための場所であり、機能的でコンパクトであるべきです。維持費がかかることが明白な、深い軒下に木材の柱を立てるようなデザイン重視の建物にすべきではありません。また、軒下の有効活用は望めません。</p> <p>(3)ガラスの面積が広すぎます。Low-ガラスを採用しても、断熱性は低下します。光熱費がかかります。ガラスを多用するデザインは、この場所には不適切です。</p>	<p>機能的で維持管理が容易な建物とすることにより、最終的なコスト増を極力抑えた形での実施設計、建設工事を目指していきます。特にデザイン重視の方針は掲げておりません。</p> <p>また、軒下部分の柱は透視図や模型で木製の柱のように表現されておりますが、その材質につきましては実施設計において構造計算等の結果も踏まえ検討していきます。</p> <p>なお、建具によりガラス面となっている部分につきましては、多くのご意見をいただいております。庇により、夏の直射日光は遮りつつ、冬場の日射しを取り入れるよう計画しております。建築コストや建物全体の断熱性に与える影響、安全性などの観点から、その必要性や使用箇所を十分に検討していきます。</p>

加美町新庁舎建設基本設計案（概要版）に関する意見と町の考え方

項番	ページ	意見の内容	意見に対する町の考え
23	P8	9断面計画(P8) (1)「大庇が風雨(雪)から建物を保護し、メンテナンス負担と耐久性向上を図ります」との文言に疑問を感じます。それを言うなら、四角の凹凸の少ない建物がベストです。 (2)「庁舎の天守といえる3階の創造(議)フロア」とありますが、庁舎は「城」ではありません。感覚に疑問を持たざるを得ません。	壁面やガラス面のコーキングの劣化の主な原因は、風雨や直射日光（紫外線）と言われております。大屋根と周囲の庇により建物に差し込む日射をコントロールし省エネ対応を図るとともに、風雨から建物を保護し、メンテナンス負担軽減と耐久性の向上を図っております。
24		お疲れ様です。おおむね賛成です。 災害時、町民にとっては「最後は役場に行けばなんとかなる。」希望の拠り所となるような建物であってほしい。 玄関位置ですが、中新田公民館は風によって自動ドアが開閉し、調整に苦労したようです。新庁舎は東を予定しているようですが台風期なども考慮して風除けになるものの設置を検討してもよいかも。また、玄関への案内を目立つようにしてほしい。中新田文化会館はホール正面に来て「今日は締まっているか」と帰っていく人が多い。中新田公民館は玄関を素通りしていく人が目立つ。 議場について、1階がいいかなと考えていたが固定席を設けない多目的利用が可能な作りとあり「議場」という権威主義的なイメージが払しょくされてよい。このままの位置で。庁舎とは直接関係ないかもしれないが今後書類の電磁化が一層進むと思われるのでその管理と過去分の書類を管理する書庫の充実を期待する。	建物の災害対策として、耐震安全性の確保については、国土交通省で定める「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」により、通常の1.5倍の地震動による構造計算を行うほか、非常用発電機や飲料水の確保等の対策を行います。 玄関自動ドアの誤作動や案内サイン等のご意見につきましては、実施設計において機種の選定やサイン計画を慎重に検討していきます。 議場は、議会の独立性や静粛性、そして会議運営の効率性を考慮し、独立したスペースとして町民スペースとは別の階に配置する案となっております。ご意見のとおり、議場内の椅子やテーブルは可動式とし、多目的利用を可能とするよう計画しています。 なお、新庁舎の書庫は規模の適正化を図りながら、過去分の書類等につきましては既存施設を書庫として利用するなど、既存施設の有効活用も含めて検討していきます。
25		北口職員用出入口について おてんとさんから誘導されてきた町民、とくに歩行困難者は北口であろうが通り抜けようとしてくるので、執務スペースを横断できる通路は確保すべきである。職員が確保された横断通路を横切る妨げにはならないはずである。	北側の職員用出入口につきましては、職員専用の出入口を想定しています。建物東側を通過してエントランスよりご利用いただくこととなるため、案内方法やサイン計画等について実施設計において詳細に検討していきます。
26	P2	太陽光パネル利用の屋根は雪止め少なく屋根の雪が3階陸屋根&大庇部分にたまるのではないかと?たまった雪の処理方法は?職員で雪かきなのだろうか? 今風なパッシブデザインも良いがいまいち運用計画とすり合わせ出来ているのか疑問。改善願います。 イメージ写真で2階部分外周に人が多すぎます。運用上は人がいたら不審者になりませんか?現実に近いイメージを。	積雪につきましては、本概要版では詳細を記載しておりませんが、雪止めを設置するとともに大庇上の屋上部分に雪を載せたままにする計画です。 なお、イメージ写真に関する人物等の配置につきましては、ご意見を踏まえ、今後作成の際に、より現実に近いイメージとなるよう配慮していきます。
27		1. 「矢越で作った借金は、矢越で返済しましょう」2つの国道との地の利を活かし、商いと税収アップ案をさせて下さい 食事及び地場産品などを販売する建屋の併設はどうか。	現在の計画では、町民の皆様の交流促進や情報発信の拠点として、共用スペースを計画しています。これは、新庁舎が町の新たなシンボルとなり、誰もが気軽に立ち寄れる開かれた場所となることを目指したものです。 建屋の併設は考えておりませんが、地場産品の販売や食事も含めた多目的に利用可能なスペースのあり方について、引き続き検討していきます。
28		5. 庁舎は税金を生みませんからコンパクトに、自然に逆らわず、屋根には勾配を壁にはおおうとなしが原則です。 又、安全地帯か否か地元住民が一番知ってます。	機能的で維持管理が容易な建物とすることにより、最終的なコスト増を極力抑えた形での実施設計、建設工事を目指していきます。
29		6. エレベーターはいらないと思います。	バリアフリー法や宮城県誰もが住みよい福祉のまちづくり条例などの規定によりエレベーターが必要となると考えております。
30		③ 新庁舎からは税収はありません。矢越には通行客も寄れるドライブインも併設したら、どうでしょうか。売上アップで税収アップも期待できます。	現在の計画では、町民の皆様の交流促進や情報発信の拠点として、共用スペースを計画しています。これは、新庁舎が町の新たなシンボルとなり、誰もが気軽に立ち寄れる開かれた場所となることを目指したものです。 建屋の併設は考えておりませんが、地場産品の販売や食事も含めた多目的に利用可能なスペースのあり方について、引き続き検討していきます。
31		4. 吹き抜け構造物はいらない	共用スペース（町民スペース）の吹抜につきましては、明るく開放的で、町民の皆様に親しまれる空間として考えております。

加美町新庁舎建設基本設計案（概要版）に関する意見と町の考え方

項番	ページ	意見の内容	意見に対する町の考え
32		4. 庁舎はもっとコンパクトに（必要最小限に）多目的、集いの庭、交流、文化、ワークスペース、ワークスタジオなどは庁舎ではなく、支所の空きエリア（旧中学校も含む）を活用すべきでは。	現在の計画では、町民の皆様の交流促進や情報発信の拠点として、共用スペースを計画しています。これは、新庁舎が町の新たなシンボルとなり、誰もが気軽に立ち寄れる開かれた場所となることを目指したものです。新庁舎において、既存施設では補完できない、またはより効果的に発揮できる交流・展示機能として、行政情報の発信拠点としての役割や、新たな交流を生み出すための役割などを検討していきます。
33		・外観 建造物として特色のある建物にして他地域から見学者も足を運ぶようなもの（地域の文化歴史も考慮）	新庁舎の建物は西に広がる町からの正面性、南の広場や共用スペースの賑わいなど、各方向からの見え方に配慮し、各面に表情のある建物としています。なお、建造物として特色のある建物、といったデザイン重視の方針は掲げておりません。
34		・エントランスホールの使い方 1. ギャラリーとして展示の場（壁面や棚） ①加美町の歴史文化に関する作品の展示 ②市民の作品発表の展示 ③町内で活躍している作家・作品の紹介と展示 ※そのための設備・備品の充実（ピクチャーレール、ワイヤーパネル等）	現在の計画では、町民の皆様の交流促進や情報発信の拠点として、共用スペースを計画しています。これは、新庁舎が町の新たなシンボルとなり、誰もが気軽に立ち寄れる開かれた場所となることを目指したものです。 提案のありました使い方については、各地区の公民館などで実施可能なものもありますが、新庁舎の共用スペースにおきましても、ピクチャーレール等の設置について実施設計において詳細を検討していきます。
35		2. ミニホールとして ①町民のレストスペース 会話、休息、読書など憩う場所 ②音楽活動のライブのミニホールや演劇や個人のパフォーマンス 加美町には作家活動（陶芸、絵画、彫刻等）をしている、作品展示の公の場がありません。各々、地域外のミュージアム（ギャラリー）や個人の自宅兼のギャラリーで作品を発表しています。 美術公募展でも入選している方々もいますが、その作品を展示する場もなく、又、市民が鑑賞できる事ありません。作家にとっても市民にとってもマイナスで、加美町理念の「歴史が紡いだ文化と芸術が受け継がれ、新しい未来が開く町」を具体的な形で活動するのか見えません。 新庁舎が出来ましたら、以上の点も考慮して、加美町を文化と芸術の町にさせていただきたいと思えます。 あわせて、旧宮崎中学校校舎利用も、「切り込焼陶芸教室への集中期間」等の宿泊施設等もいかがでしょうか。 20年前、地元の活性化を目指し、Uターンしてホームギャラリーを開きました。開放期間には多くの地域外の方々が見えます。	項番34と同様に、提案のありました使い方については、各地区の公民館などで実施可能なものもありますが、新庁舎の共用スペースの使い方の案として承ります。 町政全般に対するご意見として承ります。
36	P5	新庁舎建設の基本設計に賛成です。 ・1階—みんなのフロア—に、6つの相談室、情報観光コーナー、コンセプトルーム（カフェ・物産）がある点が良い。 ・上下階の連携に、住民とは別の専用階段があることで、スムーズな移動ができて良い。	現在の計画では、町民の皆様の交流促進や情報発信の拠点として、共用スペースを計画しています。これは、新庁舎が町の新たなシンボルとなり、誰もが気軽に立ち寄れる開かれた場所となることを目指したものです。また、職員や来客の動線につきましても引き続き検討していきます。
37	P6	・議会と庁舎が一緒の建物に入ること、町長や職員の移動が最小となり、業務に利便性が生まれると思う。	新庁舎は、1箇所ですべての機能を済ませられる利便性や、事務の効率化のため、現在は分かれて配置されている福祉部門、議会、教育委員会、農業委員会などの機能を集中させた庁舎として計画しています。
38	P8	・3階の一部を木造とする点が好ましい。	ご意見として承ります。
39	賛成意見 要望	10年間以上保留にしてきた新庁舎問題が動き出し町民の意見を取り入れ前進していることに期待をします。計画が本格的になり時間が限られている中ご検討された方々に感謝いたします。職員の皆様の職場環境整備、IT活用などで町政全般の遅れを取り戻すべく私たち町民と奮闘して行けるような活用できる庁舎を期待いたします。 庁舎外回りから100V60A位のイベント用商業電源を3箇所ほど取れ様に検討してほしい。	新庁舎の建設の時期について、合併特例法の財政支援が受けられる期限である令和10年度までに完了させることが財政面で非常に有利であり、早急に進めていく必要があると考えています。 なお、ご意見を踏まえ、催事やイベント等に使用できる外部電源の設置については、実施設計において検討していきます。

加美町新庁舎建設基本設計案（概要版）に関する意見と町の考え方

項番	ページ	意見の内容	意見に対する町の考え
40		・加美町の現状を考えると高齢者の利用—ということも配慮しなければならない点で、より細やかな計画をお願いしたいと思います。	だれもが利用しやすいユニバーサルデザインによるバリアフリー対応など、みんなにやさしい庁舎を計画しています。
41		・エントランス付近に町政について気軽に学び・調べられる閲覧コーナーなどを設けていただき町民の関心が高まるとよいなあとと思います。	現在の計画では、町民の皆様の交流促進や情報発信の拠点として、共用スペースを計画しています。これは、新庁舎が町の新たなシンボルとなり、誰もが気軽に立ち寄れる開かれた場所となることを目指したものです。新庁舎において、既存施設では補完できない、またはより効果的に発揮できる交流・展示機能として、行政情報の発信拠点としての役割や、新たな交流を生み出すための役割などを検討していきます。
42		・庁舎は、町外からのお客さまを迎える施設でもあるので、見た目にも美しい、このような設計で良いと思います。	新庁舎の建物は西に広がる町からの正面性、南の広場や共用スペースの賑わいなど、各方向からの見え方に配慮し、各面に表情のある建物としています。
2. 機能や性能			
43	P7	◎壁面ガラスについて 1F・2Fとも床面から1m程度の壁を設置したほうが良いのではないですか。（北側壁面は壁あり） ※理由 ①女子職員がスカート姿で窓際で執務した場合や窓際に立ち止まったとき下から丸見えです。ガラスの強度・断熱効果以前の問題ではないですか。 ②殆どの壁面がガラスでは動物園と同じではないですか。執務しているとき外から全て監視されているようです。	ご意見のとおり、床面からのガラス立ち上がりとなっている箇所については、外部からの視線等への配慮のほか、建築コストや建物全体の断熱性に与える影響、安全性などの観点から、その必要性や使用箇所を十分に検討していきます。
44		25年後11,000人台、50年後はどれだけの人口になるか考えた場合、償還金や維持管理費は、将来にわたって財政に大きな影響を与え続けることになる。 よって、 ①エントランスホールや交流広場やガラス張：又L字形の建物はコスト面・安全面からも問題である。必要最小限にとどめるべきである。	整った長方形の建物とはなっておりませんが、それによるコスト面への影響は軽微と考えております。また、交流広場は町民の皆様の交流やイベント等といった目的だけでなく、町側としても期日前投票や税申告相談、子育てや保健関連事業、臨時的な申請受付業務、ワークショップや説明会、各種団体の会議等に使用することを想定しています。 建具によりガラス面となっている部分に関しましては、多くのご意見をいただいております。庇により、夏の直射日光は遮りつつ、冬場の日射しを取り入れるよう計画しております。建築コストや建物全体の断熱性に与える影響、安全性などの観点から、その必要性や使用箇所を十分に検討していきます。
45	P3	全体的にガラス張りが多いのではないのでしょうか。特に執務室に面するところは冷暖房の効率を考えて腰高から上とかにしてはどうでしょうか。 外壁など外側に木材を使用するところがあるのでしょうか。中新田保育所の例を見ると木材は年数が経過するごとに傷みが早く来る気がしますので、外には使用しないことを提案します。	建具によりガラス面となっている部分に関しましては、多くのご意見をいただいております。庇により、夏の直射日光は遮りつつ、冬場の日射しを取り入れるよう計画しております。建築コストや建物全体の断熱性に与える影響、安全性などの観点から、その必要性や使用箇所を十分に検討していきます。 また、木材の使用に関しましては、旧中新田保育所に関するご意見のとおり、軒が浅く雨が掛かるような部分で使用すると、白化や腐朽が進むものと認識しています。外部で使用する場合は、腐朽への対策やメンテナンス性に配慮していきます。
46		新庁舎は3階建て・全面ガラス張りでは、猛暑、厳寒に耐えられるのか、維持管理に必要以上に費用が増大するのでは？ 「町の拠点」としての新庁舎もいいのですが、支所機能の充実を望みます。	建具によりガラス面となっている部分に関しましては、多くのご意見をいただいております。庇により、夏の直射日光は遮りつつ、冬場の日射しを取り入れるよう計画しております。建築コストや建物全体の断熱性に与える影響、安全性などの観点から、その必要性や使用箇所を十分に検討していきます。 また、新庁舎の建設にあわせて、行財政改革や住民サービスの維持向上のため、支所をはじめとした出先機関等のあり方、職員の配置等についても検討していきます。

加美町新庁舎建設基本設計案（概要版）に関する意見と町の考え方

項番	ページ	意見の内容	意見に対する町の考え
47		<p>加美町の人口は減少しており、2万人を切ろうとしています。 したがって町民税も減少し、地方交付税も減ってくるので、自由に使える金は限定されてくる このような状況で、新庁舎には無駄なお金をかけないほうが良いと考えます。 無駄！ 全面ガラス張りの庁舎 夏場は太陽光が入りすぎて、室内温度が上がり、冷房の費用がかさむ、冬場は放熱が多くなり、暖房代もかかりすぎる ガラスは汚れが目立つので、窓ふきの費用もばかにならない この建物では維持費がかかりすぎるので、壁が多い建物に変更すべき</p>	<p>透視図がガラスの部分が多くある東面となっており、ガラス面のご意見を多数頂いております。立面図においては、西面や北面など、外壁の仕上げとなる部分も多くございます。 建具によりガラス面となっている部分に関しましては、多くのご意見をいただいております。庇により、夏の直射日光は遮りつつ、冬場の日射しを取り入れるよう計画しております。建築コストや建物全体の断熱性に与える影響、安全性などの観点から、その必要性や使用箇所を十分に検討していきます。</p>
48	P2	<p>② 壁面素材：維持・管理費の面からガラスカーテンウォールではなく、木製にして窓は適度な大きさにする。 “ランニングコストの縮減”とあるが、ガラスウォールカーテンが多用されている。視覚的な意味でのデザイン性には優れ、軽量化も図れるが、窓は熱の出入りが最も多いため、Low-Eガラスであっても東や西にも使用面積が大きいことで、光熱費が高む。 ガラスを通して西日が当たる場合、普通の家庭や商店等でもカーテンを用いるし、そもそも窓を設けないことが多い。Low-eガラスであっても、西日に対して暑いと感じるケースも報告されブラインドとの併用を提案している建築事務所もある。このように、遮熱・断熱の効果は限定的なため、光熱費が高額になる。 また、汚れが目立つため、頻繁な窓清掃が必要と思われる。また、破損時の危険性も高く、修理期間がより長く、修理費用も高額である。</p>	<p>建具によりガラス面となっている部分に関しましては、多くのご意見をいただいております。庇により、夏の直射日光は遮りつつ、冬場の日射しを取り入れるよう計画しております。建築コストや建物全体の断熱性に与える影響、安全性などの観点から、その必要性や使用箇所を十分に検討していきます。</p>
49		<p>コンパクトな庁舎を！ 利用価値の低いものは必要ない！ 39億円では済まない！ ガラス張りの部屋は冬場は暖房、夏場は冷房と費用がかかるので、出来るだけガラス張りはさけるべきである、又特に地震等による被害が発生しやすい！</p>	<p>機能的で維持管理が容易な建物とすることにより、最終的なコスト増を極力抑えた形での実施設計、建設工事を目指していきます。 建具によりガラス面となっている部分に関しましては、多くのご意見をいただいております。庇により、夏の直射日光は遮りつつ、冬場の日射しを取り入れるよう計画しております。建築コストや建物全体の断熱性に与える影響、安全性などの観点から、その必要性や使用箇所を十分に検討していきます。</p>
50		<p>ガラス張りの部屋りはさけるべきである又特に西風がつよくてまどがこわれたら費用かかるので西がわをカベにしたほうがいーとおもいます。</p>	<p>建具によりガラス面となっている部分に関しましては、多くのご意見をいただいております。庇により、夏の直射日光は遮りつつ、冬場の日射しを取り入れるよう計画しております。建築コストや建物全体の断熱性に与える影響、安全性などの観点から、その必要性や使用箇所を十分に検討していきます。</p>
51		<p>3階建てのガラス張りについて 維持管理にお金がかかるでしょう！！ ガラスを減らしてほしい！！</p>	<p>建具によりガラス面となっている部分に関しましては、多くのご意見をいただいております。庇により、夏の直射日光は遮りつつ、冬場の日射しを取り入れるよう計画しております。建築コストや建物全体の断熱性に与える影響、安全性などの観点から、その必要性や使用箇所を十分に検討していきます。</p>
52	全体として	<p>・窓が多く明るく開かれたイメージでとても良い。 ・町道田川平柳線の両側に、12月からマガンや絶滅危惧種のシジュウカラガンが多い日で500羽も田んぼに飛来して食事をしている。きっと新庁舎からも、訪れてくる道中からもその姿を見ることができると思う。 この貴重な共存の環境が変わることがないよう切に切に願っている。</p>	<p>建具によりガラス面となっている部分に関しましては、多くのご意見をいただいております。庇により、夏の直射日光は遮りつつ、冬場の日射しを取り入れるよう計画しております。建築コストや建物全体の断熱性に与える影響、安全性などの観点から、その必要性や使用箇所を十分に検討していきます。 3階は周囲の回廊から町の美しい風景を望めることができるよう計画しています。</p>

加美町新庁舎建設基本設計案（概要版）に関する意見と町の考え方

項番	ページ	意見の内容	意見に対する町の考え
53		<p>新庁舎建設基本設計案について賛成です。 人口減少や財政的に厳しい状況だとは思いますが、町民の利用しやすさにも配慮されているように感じました。 建設費用や建設面積等について、色々なご意見を耳にすることがあります。 10年以上前とは資材高騰など色々な状況の変化があるので、もっと早く建設計画が進行していればと思うところではあります。防災拠点施設となり、災害時に避難場所になりえることも考慮すると、ある程度の広さは必要だと考えます。 ガラス張りの事（安全性）を心配されているような話を耳にしますが、コスト削減対策だとお聞きしました。ここに関しては考慮されているものだと思いますが、町民の不安払拭が必要な点だと思いますのでその点、よろしく願い致します。 合併特例債の期限もありますので、速やかに計画が進行するよう願います。 職員も町民も安心して過ごせる場所になることを期待致します。 建設予定地の東側には絶滅危惧種であるシジュウカラガンやマガン、ハクチョウなど冬の渡り鳥たちが多数飛来する環境です。自然と共存する加美町の素敵なシンボルになることを期待しています。</p>	<p>機能的で維持管理が容易な建物とすることにより、最終的なコスト増を極力抑えた形での実施設計、建設工事を目指していきます。 建具によりガラス面となっている部分に関しましては、多くのご意見をいただいております。庇により、夏の直射日光は遮りつつ、冬場の日射しを取り入れるよう計画しております。建築コストや建物全体の断熱性に与える影響、安全性などの観点から、その必要性や使用箇所を十分に検討していきます。 ご意見のとおり、建設の時期について、合併特例法の財政支援が受けられる期限である令和10年度までに完了させることが財政面で非常に有利であり、早急に進めていく必要があると考えています。なお、3階は周囲の回廊から町の美しい風景を望めることができるよう計画しています。</p>
54		<p>合併特例債を使えるうちに新庁舎を建設して下さい。 とても機能的でステキな外観です。 ガラスが多いので中新田中学校のランチルームのようにならないようにお願いします。 新庁舎建設に賛成です。</p>	<p>新庁舎の建物は西に広がる町からの正面性、南の広場や共用スペースの賑わいなど、各方向からの見え方に配慮し、各面に表情のある建物としています。 建具によりガラス面となっている部分に関しましては、多くのご意見をいただいております。庇により、夏の直射日光は遮りつつ、冬場の日射しを取り入れるよう計画しております。建築コストや建物全体の断熱性に与える影響、安全性などの観点から、その必要性や使用箇所を十分に検討していきます。 なお、加美町パブリックコメント実施要綱第2条第4項にありますが、パブリックコメントは、町の政策等に対する町民の皆様の賛否を問うことを目的としておりませんので申し添えます。</p>
3. 安全性			
55		<p>2. ハザードマップには、水没3～5mの場所となっている。（ダム欠壊相定）明治43年の大洪水、昭和23～24年（アイオンキャサリン台風）によって中新田は水没している。新らたは鳴瀬川ダムの完成後にはプラス30t/Sの放流となる。現在は漆沢ダム50t/Sの放流であるが、さらに30t/Sが加われば、カヌー場堤防欠壊が生じた場合、60億円以上をかけて建設した庁舎は安全といえるか？帯状降水帯が発生した場合（日本での記録は555.5m/m/日、一昨年の庄内酒田では500m/m/日）に建物立地の場所が、70cmの盛土だけで大丈夫なのか。</p>	<p>町のハザードマップによると、建設地の想定浸水深は、北側が0～0.5m（黄色）、南側が0.5m～3m（薄いオレンジ色）に着色されております。また、国土地理院等のWebサイトによると、標高27.9m程度まで水位が到達すると想定されています。 町のハザードマップは、造成前の水田の標高を元に着色等が行われております。建物の建設位置については、標高28.8m程度まで盛土する計画であり、浸水に対する安全性は確保されていると判断しています。</p>
56		<p>① 新庁舎建設予定の地盤の軟弱性が非常に心配です。コンクリートパイルは設計されているのでしょうか？それ以上の強度—地震等は予測不可故に本数を増やした方がいいと考えます。勿論この為の費用増は認めます。—〇〇〇避難地として住民が集まるかもしれないからです。</p>	<p>建設地は地質調査の結果、建物を支えることができる支持地盤まで約18mの深さがあり、中新田地区において一般的な深さと考えております。基礎形式は支持地盤まで到達する杭基礎により、建物をしっかりと支えることができると考えています。また、耐震安全性の確保については、国土交通省で定める「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」により、通常の1.5倍の地震動による構造計算を行います。</p>
57		<p>建設予定地の矢越地区は、湿地帯で軟弱地盤の為、耐震性に弱く、基礎部分に相当思い切った対策を施さなければならない。資材等高騰の折、基礎工事からして相当の経費がかさむのではないかと。</p>	<p>建設地は地質調査の結果、建物を支えることができる支持地盤まで約18mの深さがあり、中新田地区において一般的な深さと考えております。基礎形式は支持地盤まで到達する杭基礎により、建物をしっかりと支えることができると考えています。</p>

加美町新庁舎建設基本設計案（概要版）に関する意見と町の考え方

項番	ページ	意見の内容	意見に対する町の考え
58		庁舎は西田地区でお願いします。 広い土地で地盤は固く、公園もあり静かです。 矢越は数年前に洪水に見まわれ、ひどい状況を目にしました。 普通に考えても、こんな場所に庁舎は建てたくないと誰でも思います。それが常識です。いろいろと問題もあるでしょうが、町民の為に建てる事を考えて下さい。常識のある決断を望みます。 矢越はレストラン等而建て、観光地として発展させて下さい。	新庁舎の建設地につきましては、加美町役場の位置を定める条例のとおり、現在の敷地で整備事業を進めております。 建物の建設位置については、標高28.8m程度まで盛土する計画であり、浸水に対する安全性は確保されていると判断しています。
59		風土に根ざした、災害につよく、職員が働きやすく、まちをつなぎ、町民が親しめる庁舎を創り上げて下さい。	建物の災害対策として、耐震安全性の確保については、国土交通省で定める「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」により、通常の1.5倍の地震動による構造計算を行うほか、非常用発電機や飲料水の確保等の対策を行います。 また、町民の皆様の交流促進や情報発信の拠点として、共用スペースを計画しています。これは、新庁舎が町の新たなシンボルとなり、誰もが気軽に立ち寄れる開かれた場所となることを目指したものです。
4. 外構・駐車場			
60	P4	◎町道からの車両進入口について 町で建設した道路にゼブラゾーンが設置されていますが、ゼブラゾーンとは交差点における右折車両の滞留と直進車両の円滑な通行を促すために設置したものでありそこに車両進入口を設置するのは如何なものか。もう少し東側に設置すべきです。また進入口の幅が狭く大型車両が入り辛いのではないですか。（スケールの表示がないので詳しく分かりません）	ご意見を踏まえ、車両進入口の形状や幅員等を検討していきます。なお、検討にあたっては警察等との協議も行っています。
61	P4	◎国道からの進入口について 農道・店舗（おてんとさん）・新庁舎の進入口が接近し交通事故を誘発する要因になります。実施設計の前に店舗に交渉し三箇所の進入口を一箇所に統合したほうが事故も起きにくいのではないですか 歩行者・自転車も安全に通行できると思います。	農道および店舗の既存の車両進入口に近接していますので、新庁舎の車両進入口の形状や幅員等を検討するとともに、左折出庫を促すなど、運用面での配慮を検討していきます。
62	P4	職員は何人入るのかわかりませんが、職員駐車場の数は十分なのでしょうか。	開庁時の職員数は約210名から220名程度と想定しています。職員駐車場につきましては、新庁舎の敷地内のほか、建設地から西へ約100mのところに町有地（旧宮城交通跡地）があり、そちらに40台から50台程度を駐車する計画としており、十分と考えております。
63		3. 設計者はどれだけ土地勘を持っているのか、国道が二つ交差している付近の出入り口は災害時に於いて洪滞が予想される。東日本大震災時の際も信号機は停止し、長い車列があった。防災車両が出入りしたり、職員たちの出入りの車が遅滞なくできるだろうか。出入り口の工夫は良いのか？時間帯にもよるが…	新庁舎の建設地につきましては、加美町役場の位置を定める条例のとおり、現在の敷地で整備事業を進めており、設計者が選定したものではありません。 なお、ご意見の車両進入口の形状や幅員等につきましては、今後測量設計を実施し検討していきます。なお、検討にあたっては警察等との協議も行っています。
64		平面図駐車場の駐車位置について 現在の本所駐車場でもっとも優れているところは来場者が本所建物出入口に最も近い場所にクルマを停めることができる点であり、この点は継承していくべき美点である。 来場者は本所建物に接着するようにしてクルマを停めること、クルマから出入り口まで数メートル歩くだけでアプローチできる点は確保しつつ、さらに雨よけ雪よけの下を歩いていけたら、利便性は飛躍的に向上すると思われる。 基本設計書では、あらゆる来場者はもれなく道路を横断しなければならない。10分程度の滞在予定者、歩行リスク者のための駐車スペースが本所建物北口および東側周囲に配置されるべきである。	駐車場の配置につきましては、実施設計において詳細を検討していきます。障がい者用駐車場や思いやり駐車場といったスペースを設ける必要があると考えておりますので、建物に近接させた駐車枠等の検討を行います。
65		東側西側職員駐車には相当数EV充電設備（一部有料）を拡充すべきである。	電気自動車への充電設備は公用車向けのものは計画いたしますが、有料の、いわゆる急速充電設備の設置につきましては、ご意見を踏まえ実施設計において詳細に検討していきます。

加美町新庁舎建設基本設計案（概要版）に関する意見と町の考え方

項番	ページ	意見の内容	意見に対する町の考え
66		<p>新庁舎が50年後も使い勝手のよい設備であるために 非常時のために夏場の駐車場を冷却するための自由使用可能な水を確保するためにも飲用可地下水、井戸水は必須である。 電力不足、情報力不足とならないようなアクセス性の良いサービス通用路の設計反映 非常時に駐車場が避難区域として役立つよう野外Wi-Fi、電力供給可能な設計配慮が必要 24時間利用可能なトイレ・AED・自販機の設置 おてんとさんとの全面地続き路面</p>	<p>地下水利用につきましては、井戸掘削およびポンプ類、水槽類の維持管理費用等も伴うことから慎重に検討してまいります。災害対応としては、受水槽の容量を大きくすることで、飲料水の確保を図ることとしています。また、駐車場の避難時のWi-fi環境や電力供給が可能となるような設備につきましては、ご意見を踏まえ実施設計において詳細に検討していきます。</p> <p>なお、24時間利用可能は想定していませんが、閉庁時刻前後や休日等の共用スペースの開放が可能となるよう、セキュリティ等を踏まえた動線計画を検討しています。</p> <p>北側に隣接する店舗との間につきましては、一段高さが低くなっている農道がありますので、互いの敷地の連絡通路の設置については、必要性を含めて検討していきます。</p>
5. 建築コスト			
67	P2	<p>工事費概算について 工事費の見直しについては、詰めが甘いと思われる。 基本設計の金額は安すぎます。人件費、資材費高騰の予測を見越せていない数字としか言いようがありません。 工事費概算によれば、R7.3の基本設計時やR7.12発注時見込みの、どちらの金額も業界の現状では考えられない数字です。 実施設計で工事費を上げ、工事期間中も増額増額になるのでは？と甚だ疑問です。業界のプレス発表記事を見続けていると、2020年からみると昨年は1.5倍、今年は1.6倍以上になるのでは？と言われております。 新庁舎建設費、延床面積の坪単価、約27.3億円（税抜き）で約163万円は、ありえないと思われま。最低でも坪単価220万円はみておかないと上げ幅が大変な数字になってしまいます。 あのような数字を提示したのであれば、増額無しで実施設計、建設工事とすすんでほしいものです。</p>	<p>現在提示しています工事費概算につきましては、現時点での市場価格などを参考に算出したものですが、ご意見いただきましたように、R7.12の発注時までの建設業界の価格動向、特に人件費や資材費の更なる高騰の可能性については、十分に考慮する必要があると考えております。</p> <p>ご意見のとおり、現在の概算金額が、今後の市場動向を十分に反映できていない可能性も否定できません。工事費の見直し状況や、今後の見直しについては、町民の皆様へ透明性を持って、速やかに情報公開していきます。最終的なコスト増を抑制し、増額を極力抑えた形での実施設計、建設工事を目指していきます。</p>
68	P2	<p>上記を含み問題が2つあります。 1つめは、現状をしっかり鑑みて計画していかないと入札不落そして入札不調になるのが予想されます。施主側からのネゴがあっても赤字覚悟で施工する業者はありません。 金額が合わなければ増額となるでしょう。議会議員の皆様においては、二元代表制の観点からも、後世の大変な負担増とならぬように緊張感を持ちしっかりとチェックしていただきたいものです。</p>	<p>市場動向を継続的に把握し、適正な予定価格の算出に努めるとともに、市場変動リスクに対応できるような方策（スライド条項の導入など）を検討いたします。</p> <p>また、これらの情報は、議会や町民の皆様に対して透明性を確保し、適切に公開していきます。二元代表制の観点から、町民の皆様への負託に応え、将来世代に過度な負担を残さないよう、新庁舎建設事業を厳しくチェックしていただくことは、町にとっても重要でありますので、議員の皆様には、事前に十分な情報提供を行い、チェック機能を適正に果たすことができるよう努めていきます。</p>

加美町新庁舎建設基本設計案（概要版）に関する意見と町の考え方

項番	ページ	意見の内容	意見に対する町の考え
69		<p>無理して建てて、町の財政が悪化したら、その負担は誰が持つのですか？町長さんや、議員の皆さんが責任を取ってくれるのですか？念書を書いてくれるというのであれば仕方ないかと思いますが、その覚悟はありますか？</p> <p>知り合いの話ですが、旦那さんの退職金で家を新築する予定でいたのに資材や人件費の高騰などで断念したと聞いています。本当に新しく庁舎は建てる必要があるのですか。</p> <p>加美町には沢山の公共施設がありますよね。</p> <p>宮崎支所の3階の議場など、使えるものは使ってお金をかけない小さな建物にするべきだと思います。</p>	<p>現在の加美町本庁舎は、昭和41年6月に建設され、平成26年に耐震改修と大規模改修が行われたものの、建築後58年が経過し、建物本体や設備機器類の老朽化が進んでいます。また、来客待合スペースや相談室の不足、空調設備や給排水設備等の老朽化、バリアフリーや省エネ対応も不十分な状態です。来庁者用駐車場も狭く、本庁舎と小野田支所にはエレベーターも設置されておらず、来庁者にご不便をお掛けしている状況にあります。</p> <p>新庁舎は、1箇所ですべての機能を集約し、事務の効率化のため、現在は分かれて配置されている福祉部門、議会、教育委員会、農業委員会などの機能を集中させた庁舎として計画しています。災害時の防災拠点としての役割のほか、行財政改革への取り組みとして、職員の適正配置や事務の効率化、維持管理コストの削減も求められており、新庁舎の必要性は高いものと考えております。</p> <p>なお、宮崎支所の議場であった場所については、現在は倉庫・書庫として利用しています。20年以上経過していますので、議場として利用する場合には、故障中の空調設備の修理、照明器具や内装類の修繕、椅子や机といった備品の更新、傍聴席や議場内のバリアフリー対応、議会中継放送設備の設置のほか、議会事務局や議員控室として使用される部分の修繕など、多くの工事や作業が必要となり、多額の費用を要すると考えられます。</p>
70		<p>②</p> <p>工事発注時の概算見込み工事費を33億1,000万円とはじき出している。前回公表した事業費は32億円で、わずか3.3%の工事費上乗せである。裏付けとなる財源の明細も示されていない。建設資材、人件費等の高騰により大幅な建設費の増額は避けられないと思うが、坪当たり単価と現時点で考えている財源の内訳を示されたい。</p>	<p>令和5年11月に実施した町政懇談会の時点では、備品や設計、既存解体などを含めた総事業費として約32億円としておりました。基本設計におきましては、本体工事と外構工事のみで33億1千万円、総事業費としては約39億円を見込んでおります。</p> <p>坪当たり単価は項番67のご意見にあるとおり、約163万円となります。また、財源の計画につきましては、将来の財政状況、一般財源の推移、そして他の事業とのバランスなどを総合的に考慮し、検討を進めております。今後、具体的な財源の見通しを策定し、周知に努めていきます。</p>
71		<p>④</p> <p>合併特例債を充てる新庁舎建設事業は、工事費の増嵩次第によっては規模縮小または建設断念の選択肢はあるのか。</p>	<p>現在提示しています工事費概算につきましては、現時点での市場価格などを参考に算出したものですが、ご意見いただきましたように、R7.12の発注時までの建設業界の価格動向、特に人件費や資材費の更なる高騰の可能性については、十分に考慮する必要があると考えております。</p> <p>工事費の見直し状況や、今後の見通しについては、町民の皆様へ透明性を持って、速やかに情報公開していきます。最終的なコスト増を抑制し、増額を極力抑えた形での実施設計、建設工事を目指していきます。</p>
72		<p>少子高齢化が急速に進行、人口減少が加速しています。</p> <p>新庁舎は、コンパクトに既存の施設を有効活用していただきたい（資材・人件費の高騰の折、新庁舎建設による財政の悪化は絶対に望まない）</p>	<p>新庁舎は、1箇所ですべての機能を集約し、事務の効率化のため、現在は分かれて配置されている福祉部門、議会、教育委員会、農業委員会などの機能を集中させた庁舎として計画しています。人口減少や職員数の減少に対応できるよう、オープンな執務空間や多目的に利用できる空間を考慮した検討を進めています。</p>
73		<p>物価高騰の折当庁舎においても予算オーバーが予想されます。</p> <p>将来借金が残る様な事の無い様、規模の縮小を含め設計内容の見直し検討を望みます。</p>	<p>機能的で維持管理が容易な建物とすることにより、最終的なコスト増を極力抑えた形での実施設計、建設工事を目指していきます。</p> <p>合併特例債を含めた新庁舎建設における財源の計画につきましては、将来の財政状況、一般財源の推移、そして他の事業とのバランスなどを総合的に考慮し、検討を進めております。今後、具体的な財源の見通しを策定し、周知に努めていきます。</p>

加美町新庁舎建設基本設計案（概要版）に関する意見と町の考え方

項番	ページ	意見の内容	意見に対する町の考え
74		今後、加美町の人口は増加していくのでしょうか？ 現状小中高齢化が進み、財源確保が難しくなっていく中高額な新庁舎が必要なのでしょうか？ 町民に寄り添う、町作りをしてもらいたい。	現在の加美町本庁舎は、昭和41年6月に建設され、平成26年に耐震改修と大規模改修が行われたものの、建築後58年が経過し、建物本体や設備機器類の老朽化が進んでいます。また、来客待合スペースや相談室の不足、空調設備や給排水設備等の老朽化、バリアフリーや省エネ対応も不十分な状態です。来庁者用駐車場も狭く、本庁舎と小野田支所にはエレベーターも設置されておらず、来庁者にご不便をお掛けしている状況にあります。 新庁舎は、1箇所での用件を済ませられる利便性や、事務の効率化のため、現在は分かれて配置されている福祉部門、議会、教育委員会、農業委員会などの機能を集中させた庁舎として計画しています。災害時の防災拠点としての役割のほか、行財政改革への取り組みとして、職員の適正配置や事務の効率化、維持管理コストの削減も求められており、新庁舎の必要性は高いものと考えております。
75		人口減少が目に見えているのに、立派なガラス張りの庁舎は必要がない！ ダウンサイジングでお金をかけない（工夫次第でコストのかからないオシャレな庁舎は建つと思う）ものを望む。	建具によりガラス面となっている部分に関しましては、多くのご意見をいただいております。庇により、夏の直射日光は遮りつつ、冬場の日射しを取り入れるよう計画しております。建築コストや建物全体の断熱性に与える影響、安全性などの観点から、その必要性や使用箇所を十分に検討していきます。
76		39億円では済まない	現在提示しています工事費概算につきましては、現時点での市場価格などを参考に算出したものですが、ご意見いただきましたように、R7.12の発注時までの建設業界の価格動向、特に人件費や資材費の更なる高騰の可能性については、十分に考慮する必要があると考えております。 ご意見のとおり、現在の概算金額が、今後の市場動向を十分に反映できていない可能性も否定できません。工事費の見直し状況や、今後の見直しについては、町民の皆様へ透明性を持って、速やかに情報公開していきます。最終的なコスト増を抑制し、増額を極力抑えた形での実施設計、建設工事を目指していきます。
77		資材や人件費が高騰しています。塩釜市では庁舎建設を断念したようですが、加美町も新庁舎建設を断念し、現庁舎を活用し増築で済ませるべきだと思います。	建設費の高騰に関しては、町としても重要な課題として認識しています。現庁舎は敷地が狭く、増築での対応は難しいものと考えております。
78		③ 合併時人口は27,000人現在は20,900人、10年後には16,000人と予測されています。39億円もの巨費、大阪万博の例にもれずもっと膨らむであろうことは予想できる。維持管理費はいくらかかるのか、未恐ろしいことです。もっと小さく効率よく作られたし。矢越の土地は金の成る木に有効活用されたい。	新庁舎は、1箇所での用件を済ませられる利便性や、事務の効率化のため、現在は分かれて配置されている福祉部門、議会、教育委員会、農業委員会などの機能を集中させた庁舎として計画しており、新庁舎の必要性は高いものと考えております。 よって、機能的で維持管理が容易な建物とすることにより、最終的なコスト増を極力抑えた形での実施設計、建設工事を目指していきます。
79		意見 1. 社会情勢の大きな変化で建設物価が高騰しているが、予定価格で建設できる設計変更を行うべき。この価格には当然、防災拠点として機能できる防災インフラも入れての事。現設計で五割超える建設価格がはじき出された際は、凍結、中止を考えるべき。(塩釜市庁舎建設凍結は英断だ)	現在提示しています工事費概算につきましては、現時点での市場価格などを参考に算出したものですが、ご意見いただきましたように、R7.12の発注時までの建設業界の価格動向、特に人件費や資材費の更なる高騰の可能性については、十分に考慮する必要があると考えております。 工事費の見直し状況や、今後の見直しについては、町民の皆様へ透明性を持って、速やかに情報公開していきます。最終的なコスト増を抑制し、増額を極力抑えた形での実施設計、建設工事を目指していきます。

加美町新庁舎建設基本設計案（概要版）に関する意見と町の考え方

項番	ページ	意見の内容	意見に対する町の考え
80		庁舎建設基本設計案について 賛成です。 中新田公民館での説明会にも参加しました。思っていたよりコンパクトでありながら、町民の利用しやすさを優先に考えられていると思いました。もっと早く計画されるべきでしたね。人口減少で財政もきびしいとは思いますが、住民が幸せを感じられる町でなければ、ますます人口は減っていくでしょう。 そういう意味でも夢を感じられる設計だと思います。とても楽しみです。 建設予定地の東側の田んぼには雪溶けの時期に、多くのガン、白鳥がエサを食べにやってきます。できれば、これまでのように鳥たちがやって来れる環境を残していただければ、役場から渡り鳥が見られる素敵な場所になると思います。期待しています。	機能的で維持管理が容易な建物とすることにより、最終的なコスト増を極力抑えた形での実施設計、建設工事を目指していきます。 3階は周囲の回廊から町の美しい風景を望めることができるよう計画しています。
81		・高齢化が進み人口減少が見込まれる中で、コンパクトに建設費用をおさえて建設する事を希望致します。既存の庁舎を有効に活用し新庁舎建設は予算内で行い、借金は残さない事。	機能的で維持管理が容易な建物とすることにより、最終的なコスト増を極力抑えた形での実施設計、建設工事を目指していきます。 合併特例債を含めた新庁舎建設における財源の計画につきましては、将来の財政状況、一般財源の推移、そして他の事業とのバランスなどを総合的に考慮し、検討を進めております。今後、具体的な財源の見通しを策定し、周知に努めていきます。
82		矢越への新庁舎設立は今だ納得しがたい事ですが、役場への用事で出向く事は1年に何回あるでしょうか。大半はコンビニですみます。 大きな庁舎はいらないと思います。 庁舎内で仕事をされる方がきもちよく仕事に熱中できればよいです。 車の往來の激しい、立地条件の悪い場所なのでお金のかかる事が予想されます。 町の財政は大切なみんなの税金です。 むだにだけは使わないで下さい。	機能的で維持管理が容易な建物とすることにより、最終的なコスト増を極力抑えた形での実施設計、建設工事を目指していきます。
83		2. 当該総事業費39億円を厳守ねがいます。 この39億円の内訳は4/22、整備室からの回答は次のとおりでした。 「物価高騰分、引越し代及び西田庁舎の解体費など一切含む」精度が高いですね	現在提示しています工事費概算につきましては、現時点での市場価格などを参考に算出したものですが、R7.12の発注時までの建設業界の価格動向、特に人件費や資材費の更なる高騰の可能性については、十分に考慮する必要があると考えております。最終的なコスト増を抑制し、増額を極力抑えた形での実施設計、建設工事を目指していきます。
84		総額39億円にして下さい オーバーするときはたてものを小さくして下さい 西田地区でおねがいします エレベーターはいらない	現在提示しています工事費概算につきましては、現時点での市場価格などを参考に算出したものですが、ご意見いただきましたように、R7.12の発注時までの建設業界の価格動向、特に人件費や資材費の更なる高騰の可能性については、十分に考慮する必要があると考えております。最終的なコスト増を抑制し、増額を極力抑えた形での実施設計、建設工事を目指していきます。 新庁舎の建設地につきましては、加美町役場の位置を定める条例のとおり、現在の敷地で整備事業を進めております。 なお、バリアフリー法や宮城県誰もが住みよい福祉のまちづくり条例などの規定によりエレベーターが必要となると考えております。
85		3. 人口の減少、財政等を考えると、建設費用を掛けないで、箱型建物で良いと思う。	機能的で維持管理が容易な建物とすることにより、最終的なコスト増を極力抑えた形での実施設計、建設工事を目指していきます。
86		3. 資材、人件費高騰で当初の予算通りに建設されるのか疑問。 島根県大田市の二の舞になる可能性も有る。 当初30億→80億に 職員の給与カットもされると言う 住民税もかなり高くなる	機能的で維持管理が容易な建物とすることにより、最終的なコスト増を極力抑えた形での実施設計、建設工事を目指していきます。
87		・少子高齢化が目に見えてる、あまりお金はかけずにコンパクトにムダのない設計にして欲しい。	機能的で維持管理が容易な建物とすることにより、最終的なコスト増を極力抑えた形での実施設計、建設工事を目指していきます。

加美町新庁舎建設基本設計案（概要版）に関する意見と町の考え方

項番	ページ	意見の内容	意見に対する町の考え
88		すべての物価が何倍にも上がっている時に庁舎を建てる等と考えられません。一度止めて、空になっている建物の利用を考えて下さい。 コンパクトで、いかにお金をかけずに出来るか考えて頂きたいです。 今年の3月までに生まれた人は14人、亡くなった人は106人です。この現実をしっかりと見て下さい。庁舎は、コンパクトで余計なスペースはいりません。	新庁舎の建設の時期について、合併特例法の財政支援が受けられる期限である令和10年度までに完了させることが財政面で非常に有利であり、早急に進めていく必要があると考えています。 機能的で維持管理が容易な建物とすることにより、最終的なコスト増を極力抑えた形での実施設計、建設工事を目指していきます。
89		〈新庁舎について〉 矢越地区、西田地区にしても、これから人口減少がみこまれる状況であり、町会議員数にしても現在15名から今後13名になるのも時間の問題と思う。 そこで、コンパクトな庁舎でもコストもおさえられると考える。1階部分のホールのトイレは女性用が4個のようだが、できれば6個で、洋式に対応してほしい。避難場所となっても女性用トイレは多い方が良いと考えた。住民が利用しやすいことが第一であり、職員も働きやすいのが大事なこと。使いやすく、居心地が良いのが基本になると考える。また趣味活動の発表の場としても無料で!!旧宮崎中学校を活用する案は無理かな？ ※現在、保健師の数が減少しており、そちらの対策も一緒に考えてほしいところです。宜しくお願い致します。	機能的で維持管理が容易な建物とすることにより、最終的なコスト増を極力抑えた形での実施設計、建設工事を目指していきます。 1階部分のトイレの設置個数等につきましては、実施設計において詳細に検討していきます。 後段、町政全般に対するご意見として承ります。
90		・基本設計案を拝見しました。 材料のコストを抑える工夫、町民どうしも交流できるような設計になっている点など良いと思います。	機能的で維持管理が容易な建物とすることにより、最終的なコスト増を極力抑えた形での実施設計、建設工事を目指していきます。 現在の計画では、町民の皆様の交流促進や情報発信の拠点として、共用スペースを計画しています。これは、新庁舎が町の新たなシンボルとなり、誰もが気軽に立ち寄れる開かれた場所となることを目指したものです。
6. 財政・財源			
91		3. 庁舎建設費は令和5年度現在で30億円、内震災特例債で70%が地方交付金で戻ると説明されているが、60億超の建設費となる。3つの基金約30億しか繰入れできず、7億円の交付金はあっても、翌年度以降の一般予算の繰入金処理で財政破壊となってしまうことを危惧する。北海道の名張の二の舞を踏まないようにしてほしい。 最近では、北海道北見市が上げられている。 財政改革やふるさと納税だけでは改善しない。未納整理（2千円税度）でも改善とはならない。しっかりした財政見通しの上に着工すべきである。例えば、宮崎支所に建物機能を移転する方法もあるのでは？	建設費の高騰に関しては、町としても重要な課題として認識しています。財源については、合併特例債、基金の組み合わせなど、最適なあり方を引き続き検討していきます。
92	P2	2つめは、合併特例債の返済計画です。特例債を使えるのが新庁舎建設だけではないにして、財源としてあてにするのであれば、当然説明責任が発生します。返済のために行政サービスの低下を招いたのでは愚の骨頂です。 そのような不安を払拭するためにも、起債額の3割プラス利息の具体的な返済計画を、きちんと町民に分かり易く提示と説明をし理解を得て進めるのが良いのではないのでしょうか。自治体も企業も、経営能力が問われる時代です。 きちんとした出口戦略が描けないのであれば、一度立ち止まり別な計画での仕切り直し、あるいは塩竈市のように作らない大英断も選択肢としてあるのではないかと。	合併特例債の活用が、将来的な行政サービスの低下を招くような事態は、断じて避けなければなりません。現在、合併特例債を含めた新庁舎建設における財源の計画につきましては、将来の財政状況、一般財源の推移、そして他の事業とのバランスなどを総合的に考慮し、検討を進めております。今後、具体的な財源の見通しを策定し、周知に努めていきます。
93		今の計画で、新庁舎を建てた場合の返済の期間、額、町民にかかる負担はどれくらいになっていくのかも、きちんと説明してほしいです。	合併特例債を含めた新庁舎建設における財源の計画につきましては、将来の財政状況、一般財源の推移、そして他の事業とのバランスなどを総合的に考慮し、検討を進めております。今後、具体的な財源の見通しを策定し、周知に努めていきます。

加美町新庁舎建設基本設計案（概要版）に関する意見と町の考え方

項番	ページ	意見の内容	意見に対する町の考え
94		⑤新庁舎完成後の維持管理経費はどの位を見込んでいるのか。現本庁舎と比較し数字を示されたい。	<p>現本庁舎の維持管理経費としましては、令和5年度決算額によると約1700万円を要しています。新庁舎建設後の維持管理経費につきましては、建物の面積や職員数が現本庁舎より増加となること、サーバー関連の集約による影響も考えますと、清掃や各種設備類の点検等の費用、電気や水道といった光熱水費の増加が見込まれます。</p> <p>また、建物自体の断熱性能の向上、高効率な機器の導入による削減効果もあり、詳細な検討を行っていないため、現段階では明確な数字でお示しすることができません。今後、実施設計におきまして、具体的な維持管理経費の見直しを検討していきます。</p>
95		町の財源の範囲内で建ててください。後世に借金を残すような事はやめて欲しいです。年寄りが増えその為の福祉政策にお金が使えるようにお願いします。立派な庁舎はシンプルにしたほうが良いと思います。	<p>合併特例債を含めた新庁舎建設における財源の計画につきましては、将来の財政状況、一般財源の推移、そして他の事業とのバランスなどを総合的に考慮し、検討を進めております。今後、具体的な財源の見直しを策定し、周知に努めていきます。</p>
96		物価高騰で特例債を使い切り更に足りない分を振興基金を取りくずす事になれば今後の町のインフラ整備、高齢者対策に必要なお金は不足し、次世代に負担を強いるのではないか？今が良ければ良い！という発想はダメです！	<p>基金取り崩しや合併特例債を含めた新庁舎建設における財源の計画につきましては、将来の財政状況、一般財源の推移、そして他の事業とのバランスなどを総合的に考慮し、検討を進めております。今後、具体的な財源の見直しを策定し、周知に努めていきます。</p>
97		新庁舎建設にかかる32億円を積立金、特例債などで建てると返済の期間、額、町民に掛かる負担はどのくらいかを知らせて欲しい。建設する事だけが先行しているような雰囲気を感じます！将来が不安にならない様お願いしたい	<p>合併特例債を含めた新庁舎建設における財源の計画につきましては、将来の財政状況、一般財源の推移、そして他の事業とのバランスなどを総合的に考慮し、検討を進めております。今後、具体的な財源の見直しを策定し、周知に努めていきます。</p>
98		ワークショップ、説明会参加していました。子や孫に借金を残すことが一番やってほしくないです。ワークショップで語っていた人がいました。「すばらしい庁舎で日本一の庁舎を！！」とふざけないで下さい。32億の予算がいまや37億！！増えることを当たり前としないで下さい。「人口減少を見末えて、これだけに押えて、借金を増やさなかった」と自満できる庁舎作りをして、日本一住民思いの町運営にして下さい。	<p>合併特例債を含めた新庁舎建設における財源の計画につきましては、将来の財政状況、一般財源の推移、そして他の事業とのバランスなどを総合的に考慮し、検討を進めております。今後、具体的な財源の見直しを策定し、周知に努めていきます。</p>
99		北見市の財政危機についてテレビで見ました。ひとごととは思えません。合併特例債が使えと言っても借金に違いありません。今後財政状況が悪化することが見込まれる中、新庁舎建設には反対します。	<p>合併特例債を含めた新庁舎建設における財源の計画につきましては、将来の財政状況、一般財源の推移、そして他の事業とのバランスなどを総合的に考慮し、検討を進めております。今後、具体的な財源の見直しを策定し、周知に努めていきます。</p> <p>なお、加美町パブリックコメント実施要綱第2条第4項にありますが、パブリックコメントは、町の政策等に対する町民の皆様の賛否を問うことを目的としておりませんので申し添えます。</p>
100		町の人口が減りつづけている中、こんなに大きな庁舎が必要でしょうか？もっとコンパクトな庁舎にするべきです。理想をおう気持はわかりますが、もっと現実を見るべきです。北見市のようにほしくないでほしい。	<p>新庁舎は、1箇所 で用件を済ませられる利便性や、事務の効率化のため、現在は分かれて配置されている福祉部門、議会、教育委員会、農業委員会などの機能を集中させた庁舎として計画しています。人口減少や職員数の減少に対応できるよう、オープンな執務空間や多目的に利用できる空間を考慮した検討を進めています。</p>
101		2. 合併特例債の期限にいたずらに振り回されるな。有利な起債とはいえ借金である。これからの時代、町財政はますます困難な時代に思われる。人口減少、働き手の高齢化、減少、交付金の減少、税収の減収、町民直結のハード整備にも特例債は使えるのに、町民に有り難味もない庁舎建設だけに特例債の大半を使っていいものか。町民がこの事を良く知り、考えるようになったら憤りは大きくなる。	<p>新庁舎の建設の時期について、合併特例法の財政支援が受けられる期限である令和10年度までに完了させることが財政面で非常に有利であり、早急に進めていく必要があると考えています。</p>

加美町新庁舎建設基本設計案（概要版）に関する意見と町の考え方

項番	ページ	意見の内容	意見に対する町の考え
102		テレビの報道で北海道の北見市の例を見ました。合併とくれいさいを使ったようです。加美町もそれがあるから大丈夫と言っていますが、今の社会状況からみると、とても信用できません。32億から39億になっていますが、もっと増えると思います。これ以上建設費が増える庁舎は要りません。	機能的で維持管理が容易な建物とすることにより、最終的なコスト増を極力抑えた形での実施設計、建設工事を目指していきます。
103		3. 基金からは、借入れはしないで下さい	基金取り崩しや合併特例債を含めた新庁舎建設における財源の計画につきましては、将来の財政状況、一般財源の推移、そして他の事業とのバランスなどを総合的に考慮し、検討を進めております。今後、具体的な財源の見通しを策定し、周知に努めていきます。
104		① 消めつ危機の加美町、新庁舎39億の内13億は借金です。 今の庁舎でだめですか。夕張市や北見市のようになりたくないです。	現在の加美町本庁舎は、昭和41年6月に建設され、平成26年に耐震改修と大規模改修が行われたものの、建築後58年が経過し、建物本体や設備機器類の老朽化が進んでいます。また、来客待合スペースや相談室の不足、空調設備や給排水設備等の老朽化、バリアフリーや省エネ対応も不十分な状態です。来庁者用駐車場も狭く、本庁舎と小野田支所にはエレベーターも設置されておらず、来庁者にご不便をお掛けしている状況にあります。 新庁舎は、1箇所で用件を済ませられる利便性や、事務の効率化のため、現在は分かれて配置されている福祉部門、議会、教育委員会、農業委員会などの機能を集中させた庁舎として計画しています。災害時の防災拠点としての役割のほか、行財政改革への取り組みとして、職員の適正配置や事務の効率化、維持管理コストの削減も求められており、新庁舎の必要性は高いものと考えております。 建設の時期について、合併特例法の財政支援が受けられる期限である令和10年度までに完了させることが財政面で非常に有利であり、早急に進めていく必要があると考えています。
105		② 基金から仮入れをしないでほしい。中新田小学校が雨もりなどで傷んでいます。こちらも建かえの必要性があると思います。貴重な財源です。	基金取り崩しや合併特例債を含めた新庁舎建設における財源の計画につきましては、将来の財政状況、一般財源の推移、そして他の事業とのバランスなどを総合的に考慮し、検討を進めております。今後、具体的な財源の見通しを策定し、周知に努めていきます。
106		1. 加美町で対処出来る総建設予算を住民に明確にして下さい。	合併特例債を含めた新庁舎建設における財源の計画につきましては、将来の財政状況、一般財源の推移、そして他の事業とのバランスなどを総合的に考慮し、検討を進めております。今後、具体的な財源の見通しを策定し、周知に努めていきます。
107		2. 人口減が進む中で、大きな負債を抱えべきでないのでは。 若い人達の住民税が少しでも安くなる町が良いし、もちろんサービスの向上も必要です。	合併特例債を含めた新庁舎建設における財源の計画につきましては、将来の財政状況、一般財源の推移、そして他の事業とのバランスなどを総合的に考慮し、検討を進めております。今後、具体的な財源の見通しを策定し、周知に努めていきます。
108		・新庁舎建設については、市町村合併特例債が有効なうちに決済されることが良いと思います。	ご意見のとおり、新庁舎の建設の時期について、合併特例法の財政支援が受けられる期限である令和10年度までに完了させることが財政面で非常に有利であり、早急に進めていく必要があると考えています。
7. その他 (1) 支所等の充実			
109		② 以前、小野田支所・宮崎支所・中新田支所は、億という予算で、耐震工事をしている筈ですが、各々余裕を持って地域住民の為の行政分担をして十分な人員を配置して事務に無駄のないサービスを実施していただく様お願いします。	新庁舎の建設にあわせて、行財政改革や住民サービスの維持向上のため、支所をはじめとした出先機関等のあり方、職員の配置等についても検討していきます。 町政全般に対するご意見として承ります。

加美町新庁舎建設基本設計案（概要版）に関する意見と町の考え方

項番	ページ	意見の内容	意見に対する町の考え
110		③ 人口減少と、老令化。車社会等考えれば、各支所の役割が重要になってきています。必ずしも支所に一課を集中させるのではなく、むしろ、小野田・宮崎・中新田支所（現在）のスペースを使う工夫をすべきで、〈第2回、ワークショップ〉レポートを見れば①～⑩までの内容を盛らなくとも十分かと考えます。ソフト面を利用充実させる為には、既存（支所等）のスペースで十分として、必要なことは、人的な配置サービスかと考えます。 箱物は、宮崎公民館ほんわかん・小野田支所・公民館・小野田図書館・中新田図書館。 小中学生、幼稚園児の減少～合併等最早十分過ぎるので、箱物は不要。	新庁舎の建設にあわせて、行財政改革や住民サービスの維持向上のため、支所をはじめとした出先機関等のあり方、職員の配置等についても検討していきます。 町政全般に対するご意見として承ります。
111		⑥ 合併以降、特に宮崎地区は人口減少が著しくにぎわいが無くなり、寂れるばかりである。宮崎庁舎からJAが撤退し教育委員会も新庁舎に移ってしまえば、均衡ある発展を目指した合併は地区民の期待を大きく裏切ることとなり、既に取り残されてしまった感否めない。新庁舎にすべての行政機能を集約するとすれば、宮崎庁舎の利活用を先送りしないよう、地区民の声を反映させる場の設置を検討すべきではないか。	新庁舎の建設にあわせて、行財政改革や住民サービスの維持向上のため、支所をはじめとした出先機関等のあり方、職員の配置等についても検討していきます。 町政全般に対するご意見として承ります。
7. その他 (2) 地盤不安			
112		⑦ 〈①についてのメモ〉 以前、ヨークベニマルの十字路あたりで、古川に向けて道の左の造成地で、コンクリートパイルを打つところでした。 吊り上げて押しただけで、ずぶずぶと半分位は何もしないで埋まっていました—こと同じでは庁舎が心配です。	旧マツモトキヨシ（ダルマ薬局）様の店舗であった建物の解体工事の際に、コンクリートパイルを引き抜く作業をご覧になったの事と思います。新庁舎におきましては、コンクリートパイルによる杭基礎につきまして、十分な支持力を得られる地層まで到達するよう設計、施工を行ってまいります。
113		2. 建るとすれば地盤を考えますと、矢越より西田地区の方がよいと思う。	新庁舎の建設地につきましては、加美町役場の位置を定める条例のとおり、現在の敷地で整備事業を進めております。 なお、建設地は地質調査の結果、建物を支えることができる支持地盤まで約18mの深さがあり、中新田地区において一般的な深さと考えております。
114		・矢越地区は地盤がゆるいため地盤を固めるための余分なお金も相当なもの聞いています。色々なものが高騰しているなかでの建設はどうかと思う。	新庁舎の建設地は地質調査の結果、建物を支えることができる支持地盤まで約18mの深さがあり、中新田地区において一般的な深さと考えております。
7. その他 (3) 説明機会の確保			
115		議会の一般質問の中で中新田地区民を対象に、新庁舎建設のための説明会に町長も副町長も来なかったのはなぜですか。 選挙の時には、町民の声を聞きますと言っておきながら、あまりにも不誠実です。 これからでも是非、町長が直接町民の声を聞く機会を設けてください。	町民の皆様の意見を広くお聴きするため、令和5年10月および令和6年10月の町政懇談会での説明、新庁舎建設委員会の設置、基本設計業務の中での町民ワークショップの実施、基本設計に関する説明会の実施などを実施し、意見の集約に努めてまいりました。
116		数年前に現在の庁舎は耐震も済んでおり、地震等に備えては安心できる状況に思えます。 新庁舎を必要とするならば設計等を見直し町民に必要以上の負担にならない様に十分話し合いをする機会を持った方がよいのではないのでしょうか。（時間をかけアンケート等を広く掲げるなど）	町民の皆様の意見を広くお聴きするため、令和5年10月および令和6年10月の町政懇談会での説明、新庁舎建設委員会の設置、基本設計業務の中での町民ワークショップの実施、基本設計に関する説明会の実施などを実施し、意見の集約に努めてまいりました。

加美町新庁舎建設基本設計案（概要版）に関する意見と町の考え方

項番	ページ	意見の内容	意見に対する町の考え
117		<p>1事業の進め方について (1)事業に着手する前に住民説明会を開催すべきでした。数名の議員が一般質問において、住民説明会を開催すべきだと町長に提案したにも関わらず、開催することなく事業を推進したことは、協働の町づくりの理念にそぐわず遺憾に思います。 (2)町民ワークショップにおいて、町の今後の財政見通しや人口減少等について説明することなく、2回目に設計案を提示し、町民に要望を出させるやり方に疑問を持ちます。参加者には、将来見通しを踏まえた上で、いかに、コンパクトな庁舎にするかという視点で考えてもらい提案してもらったべきだったと思います。 (3)4月15日の基本設計案の説明会に参加したところ、町長も副町長も参加しておらず落胆しました。直接町民に語りかけ、町民の声を聞く姿勢があるのだろうかという疑問に思わざるをえません。 (4)パブリックコメントの募集については、5月3日に届いた「広報かみまち」で始めて知りました。それも、締め切りが7日と知り驚きました。HPでは周知していたのですが、ほとんどの人は見ていません。積極的に町民の声を聞こうとする姿勢が感じられません。</p>	<p>町民の皆様の意見を広くお聴きするため、令和5年10月および令和6年10月の町政懇談会での説明、新庁舎建設委員会の設置、基本設計業務の中での町民ワークショップの実施、基本設計に関する説明会の実施などを実施し、意見の集約に努めてまいりました。 なお、パブリックコメント手続きにつきましては、ホームページでの公開に加え、4月15日付の回覧にて周知させていただきました。今後もより分かりやすい周知方法となるよう努めていきます。</p>
118		<p>過日の新庁舎の基本計画概要説明会を中新田公民館にて参加して聞きました。担当の整備室の職員の相当な苦労や心労を感じた。 紆余曲折が在った庁舎問題は町民の大きな関心事であり、選挙での争点でもあった事なのに会場に入って、余りの人数の少なさに驚いた。 町長、副町長、他の建設に関わる(起債返済や町民への税負担、合併特例債に関して詳しく答えられる課長等)担当課長も居なかったのは、正直あまりにも、おそまつな感があった。40億上程はかかるだろう庁舎建設の設計基本計画案の説明会は今回だけと聞いた。説明会を一回開催したと云う口実で案が実行されることの無いよう、全町民に周知をすることが肝要だと思う。 庁舎建設位置についても石山町長の各地区での一回の説明会で決定されたことに町民は憤慨をこえてあきれている。調べてみると合併以来20年近くかけて検討委員会や議会でも何度も議論されて来たものではないか。</p>	<p>町民の皆様の意見を広くお聴きするため、令和5年10月および令和6年10月の町政懇談会での説明、新庁舎建設委員会の設置、基本設計業務の中での町民ワークショップの実施、基本設計に関する説明会の実施などを実施し、意見の集約に努めてまいりました。 新庁舎の建設地につきましては、加美町役場の位置を定める条例のとおり、現在の敷地で整備事業を進めております。</p>
119		<p>町長の議会答弁を聞いていて、特に風力反対の理由は「町民の理解・合意を得ていない」と毎回のように云っていた。一回きりの町民説明会で庁舎位置を決めたり、設計案を進める事は町民の理解・合意を得ている事なのですか?庁舎建設在りき、の進め方には反対だ。町財政は豊かなのか?自主財源はあるのか?北海道北見市の実情と似ているから心配だ</p>	<p>町民の皆様の意見を広くお聴きするため、令和5年10月および令和6年10月の町政懇談会での説明、新庁舎建設委員会の設置、基本設計業務の中での町民ワークショップの実施、基本設計に関する説明会の実施などを実施し、意見の集約に努めてまいりました。</p>
120		<p>新庁舎建設について説明会に参加しました。 町や設計者からていねいな説明があり、会場の町民からも疑問質問が出ましたが、誠実な答えと、新しい提案には検討しますと前向きな姿勢とやる気を感じました。 強い風に立ち向う加美町の象徴となる新庁舎、完成が待ち遠しいです。</p>	<p>町民の皆様の意見を広くお聴きするため、令和5年10月および令和6年10月の町政懇談会での説明、新庁舎建設委員会の設置、基本設計業務の中での町民ワークショップの実施、基本設計に関する説明会の実施などを実施し、意見の集約に努めてまいりました。</p>
7. その他 (4) 早期着工			
121		<p>新庁舎建設、早期着工し町民の利用を望みます。</p>	<p>ご意見のとおり、新庁舎の建設の時期について、合併特例法の財政支援が受けられる期限である令和10年度までに完了させることが財政面で非常に有利であり、早急に進めていく必要があると考えています。</p>
122		<p>決定した以上、早く建てるしかない</p>	<p>ご意見のとおり、新庁舎の建設の時期について、合併特例法の財政支援が受けられる期限である令和10年度までに完了させることが財政面で非常に有利であり、早急に進めていく必要があると考えています。</p>

加美町新庁舎建設基本設計案（概要版）に関する意見と町の考え方

項番	ページ	意見の内容	意見に対する町の考え
123		シンプナ庁舎でいいので、早く作ってほしい 宮崎の人は、不便なのでよろしくお願ひします。	ご意見のとおり、新庁舎の建設の時期について、合併特例法の財政支援が受けられる期限である令和10年度までに完了させることが財政面で非常に有利であり、早急に進めていく必要があると考えています。
124		早く庁舎を建設して欲しいです	ご意見のとおり、新庁舎の建設の時期について、合併特例法の財政支援が受けられる期限である令和10年度までに完了させることが財政面で非常に有利であり、早急に進めていく必要があると考えています。
125		住民のため、早期に建設してほしい	ご意見のとおり、新庁舎の建設の時期について、合併特例法の財政支援が受けられる期限である令和10年度までに完了させることが財政面で非常に有利であり、早急に進めていく必要があると考えています。
126		いろいろ問題はありますが、現実には建設を早くすべきです	ご意見のとおり、新庁舎の建設の時期について、合併特例法の財政支援が受けられる期限である令和10年度までに完了させることが財政面で非常に有利であり、早急に進めていく必要があると考えています。
127		庁舎は此からの事を考えても、新庁舎にして、開かれた、機関として、かたぐるしさが関係して、談話室など有れば良いと思います。建て替えを早期にお願いします。	現在の計画では、町民の皆様の交流促進や情報発信の拠点として、共用スペースを計画しています。これは、新庁舎が町の新たなシンボルとなり、誰もが気軽に立ち寄れる開かれた場所となることを目指したものです。 ご意見のとおり、建設の時期について、合併特例法の財政支援が受けられる期限である令和10年度までに完了させることが財政面で非常に有利であり、早急に進めていく必要があると考えています。
7. その他 (5) 位置			
128		石山町長は加美町広報の新年あいさつで「星元町長のご意思をしっかりと受け継ぎ」と述べられていますが、星さんは生前庁舎は西田でなければだめだと、何度も言っていました。星元町長の意思に反して矢越に作るのですか。新庁舎は西田に作るべきです。	新庁舎の建設地につきましては、加美町役場の位置を定める条例のとおり、現在の敷地で整備事業を進めております。
129	P1, P4	① 建設場所：地盤、建設費用、他施設との連携の面から西田地区に建設する。 杭工法、大雨浸水対策：地盤対策、大雨浸水コストは、西田地区であれば大きな対策は必要ない。 コンセプト02：高断熱化とあるが、ガラスウォールの場合、断熱効果は得にくい。西田であれば西に公園の樹木があるので、西日、西風が多少避けられる。また、地盤が安定しているので、建物の軽量化、ガラスウォールでなくてもよい。 コンセプト03：“コミュニティ”“地域の拠点”“行政と町民をつなぐ”という視点に置いて、中新田小学校、中新田福祉センター、図書館等との近さは、現在地ですでに実現している。西田地区であればそのまま引き継がれるのであえて移動する必要はない。 本務ではないものの、迎えを待つ小学生の居場所になっていることは、偶発的ながら子どもたちを見守る町としての温かさが感じられる。少子化の中子育てをしている保護者の安心感にもつながっているため現在地に近い西田が適切。 手狭な場合近隣の土地を購入することも考えられる。	新庁舎の建設地につきましては、加美町役場の位置を定める条例のとおり、現在の敷地で整備事業を進めております。
130		矢越について、国道457号と347号が交差する土地に面し、加美町では最も交通量の多い所である。新庁舎の建設予定地に面しようとしている所には横断歩道は設置されないであろう。徒歩で役場を利用する人達にとっては、危険すぎる、交通事故等が多発するおそれがあるため、矢越に建設するのは反対である！	新庁舎の建設地につきましては、加美町役場の位置を定める条例のとおり、現在の敷地で整備事業を進めております。 なお、加美町パブリックコメント実施要綱第2条第4項にありますが、パブリックコメントは、町の政策等に対する町民の皆様の賛否を問うことを目的としておりませんので申し添えます。

加美町新庁舎建設基本設計案（概要版）に関する意見と町の考え方

項番	ページ	意見の内容	意見に対する町の考え
131		新庁舎は矢越でよいのか、町財政を少しでも、豊かにするには、道の駅とか何か、に活用し、財政を潤う方法を考えるべきである！	新庁舎の建設地につきましては、加美町役場の位置を定める条例のとおり、現在の敷地で整備事業を進めております。
132		矢越について、457号と347号交差する交差土地に面し最も交通量所で新所舎に行のに、徒歩・横断歩道をわたるとき、交通量が多所でこわい横断することができない。矢越建設するのは反対です。	新庁舎の建設地につきましては、加美町役場の位置を定める条例のとおり、現在の敷地で整備事業を進めております。 なお、加美町パブリックコメント実施要綱第2条第4項にありますが、パブリックコメントは、町の政策等に対する町民の皆様の賛否を問うことを目的としておりませんので申し添えます。
133		② 星町長時代、役場庁舎の建設適地について、町の有識者、役場の課長等の方々に種々検討の結果、現庁舎の隣地が最適であると答申が行われている。	新庁舎の建設地につきましては、加美町役場の位置を定める条例のとおり、現在の敷地で整備事業を進めております。
134		結び (1)そもそも、矢越町有地に庁舎を建設することに合理性が見出せません。西風が強く吹き付けるこの場所では建物の劣化が進みます。目立つ場所であることから、どうしても、機能性や経済性よりデザイン性が優先される結果となっています。結果的に基本設計案は、ライフサイクルコストのかかるデザインになってしまいました。 (2)持続可能な町を作る基本は、健全な財政を維持することです。合併町である本町は、多くの施設を抱えており、施設の廃止と共に、残すべき建物については有効活用に努め、新築は抑制していかなければなりません。新庁舎についても必要最小限度の規模に抑えるべきであり、他の施設が有する機能までも盛り込み、過大なものにすべきではありません。人口が急速に減少する中、財政への影響を極力低減す計画とすべきです。 (3)地方自治法第4条2には「事務所の位置を定め又はこれを変更するに当たっては、住民の利用に最も便利であるように、交通の事情、他の官公署との関係等について適当な考慮を払わなければならない」とあります。西田町有地は庁舎の位置としてすべての要件を満たしています。西側にはさわざくら公園もあり、環境面でも防災面でも最適な場所です。何年かかっても、矢越にはこのような環境を作り出すことはできません。 (4)星元町長は、新庁舎は矢越ではぜったいだめだ、西田でなければならないと再三おっしゃっていました。石山町長が、加美町広報の新年あいさつで述べられたように「星元町長のご意思をしっかりと受け継ぐ」のであれば、星元町長の意思に反して矢越に作るべきではありません。今からでも遅くありません、客観的に両候補町有地を比較し、後世に負の遺産を残さぬよう再考を求めます。	新庁舎の建設地につきましては、加美町役場の位置を定める条例のとおり、現在の敷地で整備事業を進めております。
135		加美町新庁舎建設に関して、まだ議会で審議し建設場所を特定していないのに、基本設計がどうだと建設費用が50億円以上などと、矢越建設が一人歩きしている感が強い。 20年も前からの時系列で、当時の経緯を知る者として新庁舎の矢越建設には到底承服できない。要は新庁舎の建設場所は住民投票による西田か矢越かにすべきです。 当時の加美町議事録や関連書類を備忘録に認めていますのでご一読下さいますように。	新庁舎の建設地につきましては、加美町役場の位置を定める条例のとおり、現在の敷地で整備事業を進めております。 なお、加美町パブリックコメント実施要綱第2条第4項にありますが、パブリックコメントは、町の政策等に対する町民の皆様の賛否を問うことを目的としておりませんので申し添えます。
136	全体	周辺高齢者からは交通量の多い所に役場があると心配との声や、高齢化が進む現状に対策する施設を望む声も多かったのですが、未来に負担として残らないように 施政として本当に庁舎がベターなのかを議論しても良いのではないのでしょうか	新庁舎の建設地につきましては、加美町役場の位置を定める条例のとおり、現在の敷地で整備事業を進めております。

加美町新庁舎建設基本設計案（概要版）に関する意見と町の考え方

項番	ページ	意見の内容	意見に対する町の考え
137		せっかくソニーから譲り受けた土地を有効に活用し町の財産として活かしてほしい。財政がひっ迫している中、また新しい土地購入など考えられない。私たちの大切な税金を無駄遣いは止めてください。	新庁舎の建設地につきましては、加美町役場の位置を定める条例のとおり、現在の敷地で整備事業を進めております。土地購入は平成23年度に完了しており、新たに土地購入を行う予定はありません。
138		4. 4/15説明会より「矢越の用地の拡張はない」との説明を皆信じて安心しています。	土地購入は平成23年度に完了しており、新たに土地購入を行う予定はありません。
139		④ 西田地区を希望します。	新庁舎の建設地につきましては、加美町役場の位置を定める条例のとおり、現在の敷地で整備事業を進めております。
140		<p>私は平成23年に加美町新庁舎建設工事、及び農業用、用排水路付帯工事について、宮城県に反対意見書を提出した者で、新庁舎建設基本設計案説明会には参加していませんので、意見修正をスル案も有りませんが、当時の内容文、資料書を見ると裏面ようになりますので参考までに見てもらえれば幸いで、有ります。</p> <p>記 私は矢越地に新庁舎建設工事認可に対して宮城県に反対する意見書を平成23年2月1日に提出した者で、財政の問題、地盤の問題、交通事故の問題が有り、又字西田地区はソニー-K.Kから庁舎を建てると言うことで、無償譲り受けた土地で、それを無シして、矢越に転換、町民の税金無駄使いで、町政の舵を取る人達の忠義感、責任感が低いと思うほかにないです。ソニー社との文書非開示、虚偽の回答などが有りましたそうです。字西田地区は旧中新田中学校が有り地盤が硬く、字矢越地区より高いので水害にも強く（近年は温暖化で集中豪雨で各地で被害続出で特に盛土は水害に弱いといわれています）西にはさわざくら公園が有り、爽やかな風が通り、南には中新田小学校、中新田高校、北には大きな図書館、児童館、も有り、災害時優位に利用することができます。土地も広く移動費も少なく経費も少なくすむと思いますが、又旧中新田地区の発展、小学校行事の駐車場にも利用できると思い合併後字西田地区に約束通りに新庁舎を建設していたら今頃は完成して職員、町民の方、方は安堵していたと思いますが当議員の方、方様の感えはどのように…………。</p> <p>字矢越地区は安永5年風土記によると中新田城（現在長興寺）が有って北側は低湿地で自然の要害になっていたと記されています。地盤が低く柔らかく今後水害に合う率が、字西田地区より高いと思われます。尚矢越の地名は中新田城より狼塚城（慈恩院）に弓矢で伝言したので矢越になったようですが定かでは有りません。</p>	<p>新庁舎の建設地につきましては、加美町役場の位置を定める条例のとおり、現在の敷地で整備事業を進めております。</p> <p>なお、加美町パブリックコメント実施要綱第2条第4項にありますが、パブリックコメントは、町の政策等に対する町民の皆様の賛否を問うことを目的としておりませんので申し添えます。</p>
7. その他 (6) 必要性			
141		町民の合意を得られるように、町は真摯に向き合ってください。建設することだけが先行しているようではダメだと思います。人口減少なのにほんとうに必要なのか疑問！	<p>町民の皆様の意見を広くお聴きするため、令和5年10月および令和6年10月の町政懇談会での説明、新庁舎建設委員会の設置、基本設計業務の中での町民ワークショップの実施、基本設計に関する説明会の実施などを実施し、意見の集約に努めてまいりました。</p> <p>なお、加美町パブリックコメント実施要綱第2条第4項にありますが、パブリックコメントは、町の政策等に対する町民の皆様の賛否を問うことを目的としておりませんので申し添えます。</p>

加美町新庁舎建設基本設計案（概要版）に関する意見と町の考え方

項番	ページ	意見の内容	意見に対する町の考え
142		<p>人口が減少していく中、新しい大きな庁舎を建てる事には反対です。2050年には加美町の人口は今より1万人ほど減ると予測されていると聞きます。既存の建物を活用して、シンプルでコンパクトな庁舎にするべきだと思います。また高齢者のことを考えると、これまでの長い間利用してきた立地環境を変えることなく、自転車や徒歩でゆっくり来訪できる状況を継続していくことも大事だと思います。</p>	<p>新庁舎は、1箇所 で用件を済ませられる利便性や、事務の効率化のため、現在は分かれて配置されている福祉部門、議会、教育委員会、農業委員会などの機能を集中させた庁舎として計画しています。人口減少や職員数の減少に対応できるよう、オープンな執務空間や多目的に利用できる空間を考慮した検討を進めています。</p> <p>また、新庁舎の建設地につきましては、加美町役場の位置を定める条例のとおり、現在の敷地で整備事業を進めております。自転車や徒歩で来庁される方への配慮に努めていきます。</p> <p>なお、加美町パブリックコメント実施要綱第2条第4項にありますが、パブリックコメントは、町の政策等に対する町民の皆様の賛否を問うことを目的としておりませんので申し添えます。</p>
143		<p>新庁舎建設に私は、疑問や懸念があります。今、加美町は人口減少、高齢者増加、農業者担い手の減少の中この規模の庁舎は必要なのでしょう？ それに誰の為の庁舎ですか。町民一人でも反対者が入れば、建設事態を考えるべきです。町民一人一人の庁舎なのですから、そのこと自体を町長さん、議員の皆様は忘れてはだめだと思います。</p>	<p>新庁舎の規模としましては、庁舎部分が約4,900㎡、車庫、外部倉庫等の部分が約600㎡、合わせて約5,500㎡の規模となっており、職員数などを考慮した適切な面積と考えております。</p> <p>現在の加美町本庁舎は、昭和41年6月に建設され、平成26年に耐震改修と大規模改修が行われたものの、建築後58年が経過し、建物本体や設備機器類の老朽化が進んでいます。また、来客待合スペースや相談室の不足、空調設備や給排水設備等の老朽化、バリアフリーや省エネ対応も不十分な状態です。来庁者用駐車場も狭く、本庁舎と小野田支所にはエレベーターも設置されておらず、来庁者にご不便をお掛けしている状況にあります。</p> <p>新庁舎は、1箇所 で用件を済ませられる利便性や、事務の効率化のため、現在は分かれて配置されている福祉部門、議会、教育委員会、農業委員会などの機能を集中させた庁舎として計画しています。災害時の防災拠点としての役割のほか、行財政改革への取り組みとして、職員の適正配置や事務の効率化、維持管理コストの削減も求められており、新庁舎の必要性は高いものと考えております。</p> <p>建設の時期について、合併特例法の財政支援が受けられる期限である令和10年度までに完了させることが財政面で非常に有利であり、早急に進めていく必要があると考えています。</p>
144		<p>③ 建設用地1.5haを有効活用するため、また、加美町の将来の人口減少を考えたとき、3階建ての庁舎は本当に必要か。</p>	<p>建設用地1.5haの中で、防砂調整池や駐車台数を確保するため、今回のような配置、階数の新庁舎を検討したところとなります。また、将来の人口減少や職員数の減少に対応できるよう、オープンな執務空間や多目的に利用できる空間を考慮した検討を進めています。</p>
145		<p>町長はなぜ新庁舎建設を押し進めるのですか？ 何にか不都合でもあるのですか。 年寄りから一言「狭い加美町そんなに急いでどこへ行く」 町長もう少し声を聞いて大人になって行く子供達に借金を残していけない思う ※役場が遠くになったらタクシーで納税大変です年金暮らしには</p>	<p>新庁舎の建設の時期について、合併特例法の財政支援が受けられる期限である令和10年度までに完了させることが財政面で非常に有利であり、早急に進めていく必要があると考えています。</p> <p>なお、町税の納付につきましては、口座振替による納付を推進していますが、納付書による場合は、役場窓口や金融機関以外にも、令和4年4月以降、コンビニエンスストア、スマートフォンアプリ、ゆうちょ銀行（郵便局）での納付が可能になっています。コンビニは曜日や時間に関わらず納付でき、スマートフォンアプリ決済はご自宅での納付が可能ですのでご利用ください。</p>
146		<p>町長は選挙の時、中新田地区は商店街の発展と活性化が重要と訴えられていた。 ① 中心街の衰退と空洞化の一因は公共施設の郊外への移転が大きいと言われていた。当に役場の矢越への建設で尚一層衰退に手を貸すことになるのではなからうか</p>	<p>新庁舎の建設地につきましては、加美町役場の位置を定める条例のとおり、現在の敷地で整備事業を進めております。</p> <p>町政全般に対するご意見として承ります。</p>

加美町新庁舎建設基本設計案（概要版）に関する意見と町の考え方

項番	ページ	意見の内容	意見に対する町の考え
147		年に何回役場に行きますか。去年は私はゼロでした。 昨今の物価高、候補地の水害心配、老人が多く出生率も低い、将来、限界集落の心配、今、多額の借金をして矢越の用地に新庁舎を建設するのは反対です。	新庁舎の建設地につきましては、加美町役場の位置を定める条例のとおり、現在の敷地で整備事業を進めております。 なお、加美町パブリックコメント実施要綱第2条第4項にありますが、パブリックコメントは、町の政策等に対する町民の皆様の賛否を問うことを目的としておりませんので申し添えます。
148		矢越地区に建造すること自体に反対なので設計案に対して書く必要を感じない。	新庁舎の建設地につきましては、加美町役場の位置を定める条例のとおり、現在の敷地で整備事業を進めております。 なお、加美町パブリックコメント実施要綱第2条第4項にありますが、パブリックコメントは、町の政策等に対する町民の皆様の賛否を問うことを目的としておりませんので申し添えます。
149		1. 物価高により建設費用を考えますと延期、又は白紙撤回を望む。	新庁舎の建設の時期について、合併特例法の財政支援が受けられる期限である令和10年度までに完了させることが財政面で非常に有利であり、早急に進めていく必要があると考えています。
150		新庁舎建設基本設計案について賛成です。 ・加美町が中新田地区・宮崎地区・小野田地区と広域な自治体となり広い視野のもと計画されており完成が楽しみです。	新庁舎の建物は西に広がる町からの正面性、南の広場や共用スペースの賑わいなど、各方向からの見え方に配慮し、各面に表情のある建物としています。
7. その他 (7) 町政全般			
151		4. 財源確保の方策のひとつに、ポテンシャルが最も高い風資源がある。多方面から収入源を求めるべき。風は資源、資源は財産、財産は自主財産である。2030年には人口は18000人（55才以上50%）2060年には加美町人口は9000人（高齢化80%）で戸数は1/3のなる。メンテナンスは、現在同様にかかることになる。 財源の見通しをしっかりと立てないと箱物建設では利益を生まないことを十二分に理解の上に建設すべきである。 財政難に陥っても、町長・議員・監査員には責任はありません。再建団体に陥れば町職員の削減や職員給の減額をすることになります。 風利用による資金確保、民と企業との連携の推進を図り観光や山の造林等にどんどん活用する手法もあるはずで。 若い世代が定住できるように、子育て世代への経済支援（例えば5才児まで1万5千円/月支援とか）や風力事業会社からは電気代の全面支援、空屋のリホーム代を全額支援等国で実施していないことを先駆けてすべきである。また、石巻～古川～加美～山形酒田迄横断の高速道を施工しないと企業立地は今後は望めない。海～海現代版の最上海道構想を考えたらいかがでしょうか。	町政全般に対するご意見として承ります。
152		⑤ 予測出来ない災害の為に必要なバックアップ体制（人的配置等）	町政全般、また防災施策に対するご意見として承ります。
153		⑥ 町民一人一人が減少していく町には財産と考えるべき。	町政全般に対するご意見として承ります。
154		今後、行政（新庁舎に関わる皆さん）の方に良い方向へ進んでいただける事に期待します。	町政全般に対するご意見として承ります。
155		施設の維持管理費について 老朽化している施設等は維持費の削減を図るためにも建て建て壊し、その用地を買却する！	新庁舎の建設に伴い、現庁舎、福祉会館などは解体を行うこととしています。跡地の利用方法等について今後検討していくこととなりますが、ご意見のとおり、売却も含めて検討していきます。
156		綺麗で素敵な施設にはそれなりのサービス品質も求められてしまっていますが、覚悟はできているのでしょうか？	町政全般に対するご意見として承ります。

加美町新庁舎建設基本設計案（概要版）に関する意見と町の考え方

項番	ページ	意見の内容	意見に対する町の考え
157		<ul style="list-style-type: none"> ・軟弱地への建築工法の技術はそれなりに考慮すると思うが、経費は高くつくと思います。 ・せっかくの道の駅の構想が消滅することは、非常に残念です。 ・商店街がさびれてしまわないだろうか、さらに七十七銀行の宮崎支店・小野田支店がなくなったように中新田支店も大丈夫だろうか。 ・役場の宮崎、小野田支所の存続はどうなるのか。 ・新庁舎建設基本設計案に関係ないのですが、この庁舎問題については、住民投票をすべきだった。各町会議員が議会決議をする際、どの程度支援者等の意見を聞いて議決に臨んでいるのだろうか。 ・庁舎問題を含めて議会の前町長への「いじめ」にしか見えなかった。 ・役場職員の方々 お疲れにならないようにしてください。 	<p>建設地は地質調査の結果、建物を支えることができる支持地盤まで約18mの深さがあり、中新田地区において一般的な深さと考えております。</p> <p>また、新庁舎の建設にあわせて、行財政改革や住民サービスの維持向上のため、支所をはじめとした出先機関等のあり方、職員の配置等についても検討していきます。</p> <p>町政全般に対するご意見として承ります。</p>
158		<p>7. パブリックコメント募集結果と是正した内容を町長にフィードバックしていただけると幸いです。</p>	<p>パブリックコメントにおいて提出された意見等や考え方は町長にも共有されます。</p>
159		<p>高齢化また人口減少していくなか今後、ムダな費用をつかわず工場誘致等に人材を投資町内（中新田、小野田、宮崎）発展する取組みを希望する</p>	<p>町政全般に対するご意見として承ります。</p>
160		<p>3町が合併して早20数年が経過した又、今後合併論が出てくるのではないだろうか。人口減少、経費削減等で隣りの大崎市に色麻町と一緒に合併が余儀なく訪れてくると思います。その際に加美支店が主たる建造物になると思います。将来的に考えると唯一の建造物＝加美支店の場所を皆で考えて欲しいです。私は総合的にみて矢越が良い場所と考えております。</p>	<p>町政全般に対するご意見として承ります。</p>
161		<p>5. 「50年に一度の事業として後世まで使い続けられる建築を」とありますが？ 50年後の加美町の人口は？学校の統合はもっともっと進み不要なる校舎が増えるでしょう。50年後は町も合併しているかも？不透明な事より、今住みやすい町の経営をお願い致します。</p>	<p>町政全般に対するご意見として承ります。</p>
162		<p>・既存の建物を利用してもらいたいと思う。</p>	<p>町政全般に対するご意見として承ります。</p>